新京日日新聞
朝刊
本日本紙二十頁
本紙定價 一部五錢 一ヶ月一圓
廣告料 普通一行 一圓三十錢
特別 同 二圓五十錢
發行所 新京日日新聞社 新京永樂町四ノ一 電話三二二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

# 新しき年に彌増す竹の園生の御繁榮
## 皇太子殿下を御中心に 大内山の御慶び

光輝ある昭和聖代も既に十とせ、彌が上にもめでたく新年の春は明けた、畏多くも 天皇陛下には寶算御三十五の新年を迎へさせられ 皇后陛下には御三十三 皇太后陛下には御五十二の玉齢を重ねさせられた、また 皇太子殿下には早くも御三歳を迎へさせられ、御姉宮照宮成子内親王殿下には御十一歳、孝宮和子内親王殿下には御七歳、順宮厚子内親王殿下には御五歳を數へさせられる、その氣高くも御可愛い御姿に御兩親 陛下を始め奉り御姉宮方の限りなく慈しみ給ふ 皇太子殿下を御中心に大内山初春の御慶びは殊の外と拝承する、また只管軍務に御精勵の陸の秩父宮、海の高松宮兩殿下には益々御氣嫌うるはしく、澄宮殿下には新春めでたく御二十一歳を迎へさせられ愈々御成年に達せられたので、來る十二月二日の御誕辰には宮中賢所大前に於て嚴かな御成年式を擧げさせ給ふ筈である、なほ今春は來る七日の吉日北白川宮佐和子女王殿下が東園基文子に御降嫁あらせらるゝをはじめ同永久王殿下には德川義恕男令孃祥子姫と、李鍝公殿下には朴泳孝侯令孫贊珠姫と御結婚式を擧げさせらるるなど御慶事重なる中に櫻咲く四月には盟邦滿洲國皇帝陛下の御來訪あり畏くも 天皇陛下には兩國永遠の親善の爲に固く御握手を交させ給ふ歴史的御盛儀を行はせらるる御豫定にて誠に新しき年は竹の園生の彌増す御繁榮と共に東洋平和史上に輝かしくも御意義深き御年である

# 畏し曉闇に四方拜の御儀
## 床しき晴れの御膳

【東京國通】昭和十年元旦、畏くも 天皇陛下には曉闇にほの白くゆらめく脂燭の下に國家安泰、萬民の福祉を祈らせ給ふ新年最初の御儀四方拜を行はせられる、神域は森として草木の息吹も聞かれるほどのしゞまの中に 陛下には黄櫨染御抱の御束帶も神々しく午前五時半神嘉殿南庭に降り立たせられ、伊勢神宮、畝傍山陵を始め各山陵四方の天神地祇を親しく御遥拜しばし御默禱、國家の安泰萬民の多幸を御祈念遊ばされ、次いで午前六時には賢所に出御歳旦祭に御親拜あらせられる、三條掌典長恭しく祝詞を奏し奉れば 陛下には靜々と賢所大前に進御、高木内掌典の奉仕する御鈴の儀のうちに御拜禮次いで皇靈殿神殿に御拜天機麗はしく入御遊ばされる、それより 陛下には午前七時半鳳凰の間に出御古儀床しき晴れの御膳に著かせられた上大奥御内儀に於いて 皇后陛下皇太子殿下を始め各内親王様方と新年の御挨拶を交はさせられ御團欒のうちに御屠蘇を祝はせられると承はる

# 兩陛下正殿に出御 群臣の拜賀式
## 御降誕後實に初の御盛事

【東京國通】光りあまねき元日の佳日、宮中に於ては群臣の拜賀式が行はせられるが、昨年は朝香宮妃殿下薨去による御喪中で新年朝儀は御取止め遊ばされ、本年の朝儀こそ皇太子殿下御降誕後初の御盛事である、この日午前十時十分と十一時の兩度にわたり天皇陛下には輝く陸軍大元帥の御正裝、皇后陛下にはきらびやかなマント、ド、クールを召されて鳳凰の間に出御あられ、秩父高松兩宮同妃兩殿下を始め各皇族方に御對面年頭の御祝詞を受けさせられ、それより各宮妃殿下方を随へさせられて正殿に出御、岡田首相以下各國務大臣、一木樞密院議長を始め樞密顧問官その他文武百官の拜賀を受けさせられ、午後一時には白國大使バッソンピエール氏以下各國大公使同夫人等外交團より拜賀を受けさせらる、二日も午前七時半晴れの御膳に著御、午前十時より文武百官の拜賀を受けさせられ、午後一時より四時までは正七位以下の參賀あり、一方大宮御所も同樣參賀の人々の伺候がある

# 帝政第二年の「輝かしい春」
## 王道の光遍く津々浦々に ＝けふを壽ぐ新京＝

逼迫せる國際情勢の中に友邦日本のよき指導を得て新興滿洲國は昨年三月帝政實施を中外に宣布し凡有る試練を受けつゝ内治外交の至難を切抜け隆昌に隆昌、旭日の勢ひで國際場裡に乘出した、そして今年滿洲國は帝政第二年の輝しい春を迎へたのだ 皇帝陛下には御年三十歳、益々御健勝にわたらせられ政務に御精勵、王道の光遍く津々浦々に及び興安の白雪、黒龍の堅氷は陽光に燦然と輝き、朔風吹きすさぶ蒙古原野の包にも熱河の山家にも五色旗翩翻と翻り三千萬民衆は王道樂土を謳歌し、帝政第二年の春を心から祝福してゐるのだ、五彩の瑞雲東天に棚引き大らかに明けたこゝ首都新京は絡繹織るが如き車馬の往來も今日ばかりはひつそりと靜かで時々街路樹の梢に小さく積んだ白雪が朝風にぱつと白銀の粉を降らすだけで如何にも平和の姿である、午前九時頃になると

### 五色

の小旗をたてゝ馬車が凍りついたアスファルトの上をカッカッと走り出し儀式に參列する大官連の自動車が往來する、滿洲國の小學校からは「天地内有了新滿洲」の國歌が日本側の小學校からは「君ケ代」の合唱が鋪道に流れて街のところどころでは日滿人が「お目出度う」と元旦の挨拶を交すのも床しい點景だ、此の日畏き邊りでは宮廷府に日滿高官を召されて朝賀の式が行はせられ、日本側では嚴かな遥拜式が行はれる、お晝過ぎになると城内の商家の奥からはドラや太鼓の音にまじつて爆竹の音がにぎやかに聞える、

### 街々

には高脚踊が身振り手振りも面白く練り歩き、伊達姿の町の兄さん連や紫や燕脂の晴衣を着飾つた町の娘達があふれ出す、西公園の銀盤の上には元氣な日滿僑の子供達が嬉々として戯れ、正に五族協和の元旦の光景だ、新京神社は朝早くから老若男女のお詣り引も切らず殊に滿洲人の參拜者の多いのは目を惹く、護國安民のために國防第一線に活躍した戰友の靈をまつる忠靈塔の前には三々五々打つれだつた兵隊さん達が默禱を捧げるのもうれしい

# 迎春の辭

多様性な緊張を孕んで一九三四年は蒼惶として逝き、我々が非常時と呼んだ一九三五年は遂に來た 我が國は列國の前にワシントン條約の廢棄通告を叩きつけて差等比率主義の破棄を宣言した、これによつて本年中に海軍々縮條約の本會議が開催されること〻なつたが、豫備會商で既に挫折した軍縮會議は異常な波瀾が豫想され海のものとも山のものとも見當がつかない 非常時局はこゝにある、而して一九三五年（昭和十年）は滿洲國の創建から敢然國際聯盟を脱退し滿洲建國の健實な進展によつて、その實力を世界に宣揚した日本が差等比率主義に基く軍縮條約を廢棄し、東洋平和の維持者として又滿洲國建設の同伴者であり良き指導者として再び日本の正義と力を世界に力強く認識せしむる時期である、日本の實力か世界列強をしてわが國の正義を承服せしむる時にのみ九千萬同胞と三千萬の滿洲國民そして四億の支那民衆は東洋の盟主日本を世界平和の建設者日本として認識するであらう

世界の現情勢は力のない正義を認めない、力強い正義だけが世界正義として迎へられるのである、日本の力強い正義こそ滿洲建設を完成し世界平和を維持する主流とならなければならない、一九三五年は來た、國民の覺悟はよいか

# 向ふは正義の大道 須らく邁進せよ
## 非常時初春を新京に迎へ
### ◇……南關東軍司令官

◇…所謂三十五、六年の非常時初春を迎へて更に志氣緊張を覺ゆ、しかも昭和聖代の鴻業は、年の改まると共に榮光いやが上に加はり光輝燦として四方に洽からむとす

◇…今更申す迄もないが、上には仁慈の皇室が在はしまし、下には忠良の國民がある、而して擧國一體、向ふ所は正義の大道である、進むに何の逡巡かいらう、行ふに何の躊躇かいらう、上下一致文武同歩、高らかに皇道宣布の大旆を翳して、此歳も亦須らく踊躍すべきである

◇…顧みれば、曩臘、大命を拜して　外の重任に就て未だ旬日を出でずと雖、首都新京に在つて玆に新春を迎ふるに當り、建設途上の滿洲國が日に月に其の基礎を鞏固にしつつある實相を目撃し、洵に欣快に堪えざるものがある

◇…由來、建國の大業に艱難を伴ふは内外等しく認むる所、然るに滿洲國興隆の跡を觀るに、建國を宣して今尚三歳に滿たず、帝制確立して未だ一歳ならざるに、邦國の基礎已に嚴として定まる、顧を回らして滿洲事變勃發の當年を偲び、之を新春具さに觀る所と較ぶれば、滿蒙各般の態樣面目を改めて其の差萬里、何人と雖も、此短日月に於ける滿洲國の進展發達に驚異の目を瞠らざるを得まい、是れ畢竟、日滿兩國民が東洋平和と人類の福祉とを招來せんと克く提携協和の實を擧げ、進んで人力の限りを盡したるに因る、併し乍ら逼迫せる國際事情に想到すれば、日滿兩國の進路には尚幾多の難關の存するものを覺悟せねばならぬが、帝國の對滿政策は確乎不拔、如何なる事態に遭遇するも終始一貫秋毫の變革もなし宜しく荊棘を排し豺狼を斃し斷々乎として邁進し、飽く迄日滿議定書の精神を恪守し、兩國國防の強化を圖りて治安の確保に努め、民衆和し相信じ、産業の振興を致して經濟提携の實を擧げ、以て新興滿洲一段の發展と兩國依存の實現とに全力を傾注すべきである

◇…昭和十年、康德二年の春は、莞爾として眼前に展開し來つた、吾等は唯正に勇往邁進を續くべきである

# 年頭の所感
### 内閣總理大臣 岡田啓介

年又新にして玆に昭和十年新春を迎ふるに當り、謹みて聖壽の萬歳を壽ぎ奉ると共に、國運の愈々進展せん事を祈るものである私は新年に於ては我が國が日に日に前進しつゝある姿を殊に明かに認め得る樣な氣持がする、恐らくもそうであらう、私は玆に國民全体が夫々更始一新の氣分を以て各自の職務に更に一層精勵せられん事を希望する、最近兩三年間に於ける我が國は正に一つの大なる劃期に直面してゐる、即ち我國は躍進の情勢にあるのであつて、之は實に我が國力の充實を示すものであると信ずる、國が躍進するとき國の内外に色々の問題が生ずるのは固より當然であつて、世上所謂非常時と謂ふのは此の狀態を稱するものと思ふ、滿洲事變の勃發、國際聯盟の脱退以後に於ける諸問題、又我商品の世界進出に伴ふ經濟的國際關係の推移殊に海軍々縮會議を目前にする現在の國際事情は今更説明する迄もない、國内的には農村問題、中小商工業問題等の益々重きを加ふるに至りたる上に、更に昨年は全國各地に各種の災害が相次いで起り、國の内外に於て政治的に、經濟的に、社會的に適正に解決せらるべき問題が山積して居るのである、併し乍ら我等の向ふべき途は三千年來毫末も變りはないのであつて我等は上に萬世一系の皇室を戴き其の大御稜威の下に萬民協心戮力して、内にしては國家康福を增進し、外にしては國際大義を顯揚するに渾身の力を捧げねばならぬ、國民の一人一人が夫れ夫れ其の職分に應じて務め勵まねばならぬ、之が幸にして生を我が國に享けた者の光榮ある使命である年頭に際し我々の此の重大使命に對する自覺を新にし、日々新又日新の意氣を以て奉公の誠を致さんことを期せねばならないと信ずる

# 新春を迎へて
### 參謀長陸軍中將 西尾壽造

玆に皇紀二千五百九十五年の新春を迎ふるに當り、些か所懐を述べて年頭の辭と致します

顧みるに、滿洲國は其建國以來日滿兩國軍警の活動により今や殆ど治安の確保を見るに到りましたのみならず、國歩の進展も年一年と活潑となりました、殊に昨年は三月、三千萬國民歡喜の裡に未來永劫を貫く帝業が創始せられ、六月には、御名代宮殿下を首都新京に迎へ奉り、盟邦和親の誠を一入具現化致したのでありまして、日滿兩帝國の國交は愈よ親密を加へたのであります、降て十二月には地方制度の改正がありまして中央集權の實大いに擧り、治安の維持交通の整備、産業の開拓等に大なる便益を得る事となり滿蒙の建設は一大躍進を見るに到つたのであります

此の進展の狀況を眼のあたり見るにつけ、私は滿蒙の人柱となつた人々に對し崇敬と感謝の念を禁ずる能はざるものがありましたが、昨年十一月新京忠靈塔の建設を了し、護國の神と化した忠魂を祀りましたことは、せめてもの慰めであります

斯くて日滿兩國は東洋平和の確保の爲に、堅實なる歩を續けて來たのでありますが、玆に年更まると共に、所謂三十五六年の國際危局に當面した譯でありまして、四圍の狀勢を一瞥いたします時は、日滿兩帝國今後の運命は決して坦々たる大道とは申し難いのみならず幾多の險難を越え荊棘を排して進まなければならないのでありますから、日滿兩國民は祝福の春の裡にも、一層緊張した氣分を持ち、誠意をこめて更に一段の努力を拂ふ覺悟をせねばならぬと信ずるのであります

# 新年の希望
### 國務總理大臣 鄭孝胥

湯の盤の銘に曰く苟に日に新に日に日に新に又日に新にせんと、此語以て聖賢進德自彊息まざるの心理を傳出すべし滿洲國建國以來世界各國の天備に飛躍する者に對し已に望塵及ばざるの狀あり、一意國運德二年に屆る矣、省制を改定するは即ち目前最大の建設たり、各省の弊を除き民を安んじ積習を掃除することについては政府省長と當に日夜に責任を以て進行すべし、其次は即ち水患豫防の爲め根本計畫を立つるにあり、此外司法を整頓し警察を教練し官吏を養成し教育を擴充するが如きは其困難殆ど逆水に舟を行るが如きものにして一寸油斷すれば前功盡く水泡に歸すべければ奮勉一番大努力を要するは勿論なりとす

自分は謬て重任に當ること三年、轉瞬の間に此の歳月を送り其才亦其任に稱はざるも未だ嘗て一刻も偸惰せしことなく又一刻の苟安も貪りしことなし、望むらくは全國の官吏其盡瘁の勤を懲み其奮勵の氣を振り今年の進歩をして一層目覺しきものありて、上は吾君に負かず下は吾民に負かざらんことを、斯くてこそ孔子の所謂三年にして成るあるもの再び今日に見るを得べき也

# 年頭の辭
### 拓務大臣 兒玉秀雄

歳玆に革り、昭和十年の新春を迎へ、内外兩地の同胞相倶に、聖代を壽ぎまつるを得るは、洵に欣慶の至りである

客歳我が國土の隨所に天災相踵いで起り、甚大なる損害を蒙つたのであるが、朝鮮臺灣の災害に對しても畏くも 天皇 皇后兩陛下より御賑恤の御思召を以て多額の御内帑金を下賜せられたことは、外地蒼生の上に垂れ給ふ大御心の程を拜察しひたすら恐懼感激に堪へざる所である、今や此等の禍害も官民一致の努力に依り善後の方途を進められ漸次復興への道程を辿りつゝあるのであるが、吾々は常に有難き 聖旨を奉體し協心戮力皇恩の萬分の一に報ひ奉ることを期せねばならない

朝鮮を初め各地に於ける統治の狀況を觀るに、治安、文化産業其の他各般の方面に於て治績年と共に擧り、内外兩地同胞の融和親睦固きを加へ、住民齊しく、皇化に霑ひ、聖代の惠澤に浴しつゝあるは洵に同慶に堪へぬ

最近に於ける國際情勢の推移に鑑みるとき、國防上、外交上、經濟上各外地の有する地位は頓に其の重要性を加へ來つたことを痛感する、日滿經濟の提携を全からしむるには朝鮮は重要なる楔子であり、我國の對南方經濟發展上臺灣及南洋群島の有する使命は極めて重大であり、又北方開拓の爲に樺太の地を閑却し得ざることは言ふを俟たない

余は各外地の官民各位がそれぞれ其の地域の有する使命の重要なるを省察し、一意國運伸長の爲に勇往邁進せられんことを切望すると共に、内外兩地同胞が彌々其の提携を密にし相互の理解を深くし以て兩地の利害の圓滿なる調整を期し、克く共存共榮の實を擧ぐるに努められんことを庶幾するものである、更に此の共存共榮の精神は之を世界に擴延光被せしめ、我が國策たる海外移植民並に海外拓殖事業を通じての國力の進展を企圖し、專ら人類福祉の增進、世界康寧の確保を大目標として諸般の施設經營を講ずべきであると信ずる余は瑞氣漲る新春に方り、内外兩地同胞の融和益々鞏く、遠く海外異域に在る同胞亦意氣旺んに、全國民相携へて國運の隆昌に寄與せんことを冀つて已まないものである

# 新年俳句

◇惠方

通用の門がさいはい惠方かな　多代
死にしともいふ人生きて惠方道　青々
面影や暦左右さす惠方棚　言水
御汐筒數も惠方の七社　蒲公英
惠方棚丁子も見えて十二燈　四明

◇注連飾

注連飾それ程庵は狹くなる　蒼禮
注連飾八十氏人の榮かな　奇遇
落柿舍の柿の枯木や注連飾　來布
注連飾秀眞が家のふいごかな　秋子
ひともすもわするるさでや注連飾　多代女

◇門松

とかくして松冠のあしたかな　移竹
門松や萬才去つてちよろ來る　麗堂
門松や鶯の鳴く玉造り　露水
門松の木ゝ空の緑かな　存亞
門の松大家よりは小家かな　成美

# 謹賀新年

昭和十年元旦

新京日日新聞社
社員一同

# 想へ"名譽ある孤立日本" 一九三五年の危機到る

## 廢止通告文愈よ手交 齋藤大使、ハル長官と會見

(ワシントン二十九日發國通)駐米大使齋藤博氏は帝國政府の訓令に從ひ二十九日正午(滿洲時間三十日午前一時)米國外務省に國務長官ハル氏と會見し正式に華府海軍々備制限條約廢止の通告文を手交した

## 英政府にも通達

(ロンドン廿九日發國通)松平大使は二十九日ワシントンに於て齋藤大使が條約廢棄通告を行ふ時間を計り午後五時外務省にクレーギー參事官を訪問廢棄通告を通達すると共に當日東京及びワシントンに於て發表された聲明書の趣旨を傳へ日本は不脅威不可侵の原則の下に徹底的軍縮を行ふべき新協定締結の意圖を有するものなる事をも明かにし改めて日本政府の意向も傳達した

## 公正妥當なる新協定成立へ わが外務當局の聲明

【東京國通】華府海軍條約を廢棄して新に公正なる條約を締結せんとして努力しつゝある帝國政府は十二月二十九日華府に於て齋藤大使をして米國政府に對し華府條約廢棄を通告せしむると同時に次の如く外務當局談の形式を以て聲明を發した

帝國政府は今次海軍々縮豫備交渉に際して關係國と協力し帝國々防の安固を期し且軍縮の實を充分發揮する公正妥當なる新協定の成立を圖り以て大海軍國間に脅威侵略の虞れを除き

**同時** になる可く國民の負擔を輕減せん事を期してゐる

帝國政府は此の見地から新軍縮協定の根幹とすべき點に付慎重考究を遂げた結果

一、既存海軍條約は大海軍國間の兵力の差等を認める方式に依つたものであるが艦船兵器及び航空機等の進歩の狀に照し右方式は到底今後我が國防の安固を確保し難いから新軍縮協定に於ては右比率主義に代ふるに各國の保有し得べき兵力量の共通最大限度を協定する方式に依らしめること

二、イ、海軍々縮の精神を發揮する爲右限度は成るべく之を小ならしむると共に

ロ、各國をして攻むるに難く守るに不安ながらしめる爲攻擊的兵力は之を全廢若しは極力縮減し防禦的兵力は之を整備すること

の要旨に依つて新協定の締結を圖ることを最も軍縮の本義に合致すると共に各國國防の恒久的安固を確保する

**所以** であるとし之を我方の根本主張として關係國に說示し來つた

然るに、ワシントン軍備制限條約は帝國政府の最も攻勢的な艦船として全廢を企圖する艦種の保有を認めるものであるのみならず、比率主義により大海軍國間の兵力の差等を規定するものであるから同條約の存續は帝國政府の根本方針に照し到底容認し得ないものに屬する、且劣等比率を以て律せらるゝ事は我國民の自尊心を傷けるもので永遠に國民に對し滿足を與ふる所以でない從つて帝國政府は同條約を昭和十一年末即ち同條約に規定せらるゝ最初の有效期到來と共に廢止せしむる事を適當と認め同條約の規定に從ひ昨年末迄に右廢止の意志を

**通告** するを必要とした、右帝國政府の意向は夙に大体英米側にも豫告せられた所である、尙我方は今次の豫備交渉を成可く友好的且效果的に行ふことを希望したので出來得れば關係國と共同して右廢止通告を行ひ、然る後更に協力して新條約の成立に努める事を適當と認めた、依つて帝國政府は先般來關係諸國全般に對し右趣旨を說示し、共同廢止通告方を勸說したところ、何れの國も之に同意しなかつたので、玆に帝國單獨にて今回ワシントン海軍條約廢止の意思を同條約第廿三條の規定に基き書面を以て米國政府に通告するに至つた次第である、右廢止の通告は該條約の規定に明瞭に豫見してあるところであつて、各締約國か條約上有する權利であることは言ふ迄も無い、右に依つて明かなる如く華盛頓條約廢棄に關する帝國政府

**今回** の措置は同條約に代り最も公正妥當にして軍縮の精神に合致する新協定の締結を期する前記我方根本方針の當然の歸結に過ぎない帝國政府は右條約廢棄通告後と雖も勿論關係諸國との友好的商議を有するの用意を有するもので公正合理的な協定の成立を見る事は其の衷心より希望するところである、進んで軍擴を行ひ或は國際平和を害するが如きは全然帝國の夢想だにもしないことは我方の攻擊的艦船の全廢又は大縮減を要望し不脅威不侵略原則の確立を期して居るに鑑み明白であるから關係諸國にして虛心惟懷に此の點に思ひを致すならば必ずや我が提案の妥當なる所以を諒解するであらう、斯くて各國の攻擊的艦船の全廢又は大縮減による現有

**勢力** の大縮少に同意すると共に其の保有し得可き兵力量の共通最大限を協定するに至れば各國は何國よりも脅威されない安全感を確保せられ、玆に始めて恒久的平和關係の確立を見る可き事は帝國政府の確信するところである

## 世界に描く波紋 我が海軍當局觀測

【東京國通】駐米大使齋藤博氏は帝國政府の訓令に從ひ二十九日正午(滿洲時間三十日午前一時)米國々務省に國務長官ハル氏と會見し正式に華府海軍々備制限條約廢止の通告文を手交した、華府條約は歐洲大戰直後の太平洋諸國現有勢力維持の一基準たる重要意義を有したるも一九二二年二月右條約調印以來玆に年月を閲すること十二年、其間に於て航空機の發達に依り爲に當ては世界平和の基礎的一條約たりし華府條約も客觀的妥當性を喪失し時代に適合せざるに至り遂に帝國政府は進んで同條約第二十三條の規定に基き今日斷乎廢棄通告提出の擧に出でたるものである、而して之か廢止通告が世界に如何なる波瀾を描くかにつき我が海軍當局は大体左の如く觀測してゐる

△米國 米國は徹頭徹尾現條約維持の態度を持續し日本に對し凡有る牽制を試みたが、愈々廢棄通告が發せられた結果米國も冷靜に返つて該條約が如何に次代に適應せぬものであるか、從つて日本の廢棄が正當な行動であるかを反省して自覺するに至るであらう

△英國も米國と協同して日本の廢棄通告阻止に相當努力して來たが、英國の一部には華府條約に對し不滿を抱くものも尠くなかつた事實に鑑み、我が廢棄通告が大した衝動を與へるものとは思はれない

△佛國 佛國は日本の廢棄通告は寧ろ望んだ所である

△イタリーもさして影響無し比較的冷靜なる態度を持續するであらう

何れにせよ我が廢棄通告は各關係國に大した衝動を與へる事なく、寧ろ各國は過去の不合理なる條約を此の際清算して白紙の立場より次代に適應した新條約締結に直進せんとするであらう

## "建艦競爭が起れば責任は日本に" 他を誣ゆる米國務省の言明

【ワシントン廿九日發國通】日本の華府條約廢棄に對し國務省は此の廢棄に依つて各國に建艦競爭が起れば其の責任は日本にあると言明した、然し日本の廢棄は條約の規定に基く當然の權利で、新たに軍縮條約を成立せんとする熱意に識者は日本に同情してゐる

## クレーギ參事官 米代表と會見

【ロンドン廿九日發國通】クレーギ參事官は廿八日午後五時デヴィス代表、スタンドレー提督を訪問して一時間半會談したが右會談で明示された英米の態度は左の通りだと見られる

一、山本、チャツトフィールドの折衝は難關突破とイギリス側も出來る限り繼續を希望する

一、相互關係なき日本の條約廢棄が軍縮交涉を阻害することは不本意であるから通告後も國際感情の激發は避ける

一、日本の原案要求にアメリカ側が正面より變更を强制せば事態惡化するので三國間の協調的折衝のみが危機回避の方法でありアメリカの自重を必要と信ず

一、來年の本會議はロンドンに於て開催すべきで開催不能にする意は發見出來ぬ

一、アメリカ側は英の和協案に日本側が平等權の主決を望み難色あるやうで日英折衝に大なる希望をかけ得られぬと想像するも右折衝に反對はなく和協的の展開を望む

一、アメリカは事態を急迫ならしむる如き行爲を慎み國際平和の障害惹起回避に努める

## 十年度の通商振興策

【東京國通】躍進途上にある帝國の輸出貿易は世界各國よりの彈壓を蒙りつゝ昭和十年を迎へんとしてゐるが、今後益々激化する國際經濟非常時に對處せんとする外務當局の通商振興策は大体左の如きものと諒解される

一、舊市場の確保

(イ)バーンビー產業視察團の齎した成果たる日英通商委員會の活動に期待し全世界に於る不斷の抗爭狀態に對し貿易戰の互讓調和を期す

(ロ)日滿經濟協同委員會の發動を待つて日滿提携ブロック經濟の確位を圖る

(ハ)對支通商振興策はその對支政治文化工作と併行的に活潑なる積極的手段に出づべく目下その準備中である

(ニ)南洋貿易は就中日蘭貿易の調整は日蘭會商繼續の建前の下に更に一段の新航路を期待す

(ホ)中南米貿易は日伯貿易を中心に經濟文化使節の派遣を契機として躍進せしむ

(ヘ)對ソヴイエート貿易は北鐵讓渡價額支拂物價九千三百餘萬圓の進出を機に之に拍車を加へしむ

二、入超國對策 我國の恆常的入超國たる米國、濠洲、ドイツ、カナダ、諸威、スコツトランドの諸國に對し其の貿易輸出入の調整を圖るのは對輸出貿易の現狀に於ては當然のことであり

(イ)濠洲に對しては既に聯邦政府と我が村井シドニー總領事との間に日濠新通商條約締結の交涉が互惠主義の方針の下に進行中であり

(ロ)カナダに對しても同樣輸出入調整の交涉開始せられ駐日カナダ公使は廣田外相との間に着々基礎的諒解を進めつゝある

(ハ)諸威に對しても關稅切下げの交涉進捗中で近く何等かの協定に達する筈である

斯くて昭和十年我が經濟外交根本方針は舊市場確保、新市場獲得、入超調整の三方法であり、此の線に從つて行はれる我が海外貿易確保の成否か廣田外相に課せられる新年大使命と見られるに至つた

## 海軍東京航空司令部 新設計畫着手 初代司令官に山本中將有力

【東京國通】海軍省では來るべき國際非常時に當り萬一の場合東京の警備に遺憾が多々あるに鑑み今回東京灣航空司令部を新設するに決し目下具體案研究中である、新司令官は目下ロンドンに活躍中の山本中將が最も有力視されてゐる

# 長城線に於ける設關問題全く解決 大体滿洲國側の要求を容る

滿支國境長城線に於る設關問題に就ては十二月中旬以來儀我、柴山兩武官を交へて滿洲國側源田稅務司長、支那側殷同、殷汝耕等との間に折衝中であつたが數次に亘る會談の結果大体滿洲國側の要求を容れ大要左の如き協定成立し長城線に於る關稅事務は從來の如き紛糾を見る事なく、圓滑に行はるゝ事になつた

一、山海關に於る保稅制度、山海關驛は支那領土内である關係上同驛拔ひ滿洲國宛の貨物に對し從來課稅關係で屢々問題を起してゐたが今後滿洲國内宛貨物は課稅せらるゝ事なく滿洲國内に搬出する事を得る

一、山海關驛に於る稅關檢査は兩國吏員立會ひの下に行ふ

一、兩國が新に長城線に稅關吏派出所を設置する場合は雙方通告し合ふこと

一、密輸防止は兩國共同で行ひ密輸品處分は先に發見せる側で行ふ

一、長城線以南即ち關内にある日滿軍需品は凡て免稅とす、但し一見して軍需品と認め難き場合軍の證明を附すること

## 航路標識は未解決のまゝ 黑河の滿ソ水路會議

【ハルビン國通】黑河の滿ソ水路會議共同技術委員會にてソ聯側が撫遠支流北岸の航路標識をあくまで固執せる爲め玆に會議は依然デッドロックに乘上げ滿洲國首席委員堀内航政局事務官は廿七日歸哈したが從來の三角洲水路はアムール及び松花江の國際法的意義より見て全くの支流に過ぎず然も兩國委員の間に締結せられた水路協定第三條にも違反するものであることは贅說たる事實である、斯く見れば問題は自ら判然とすべく即ちソ聯側が我が三角洲航路標識撤廢固執の前提條件たる三角洲は明かに滿洲國に歸屬するものなることを證明してゐる從つて同委員會に於て滿洲國側が委員會の性質上常に技術的立場より交涉を進めんとするに反しソ聯側は之を政治的觀點から解決せんとする態度は委員會の使命に副ふこと遠く玆に於て委員會討議の最大難關たる三角洲問題の解決は滿ソ兩國の外交々涉に俟つより外なき狀態に立至つた、而して技術委員會の構成メンバーたる滿洲國ハルビン航政局としては今回の委員會に於て外交々涉とは別個の見地より廿二日三角洲の航路標識を處理すべき旨の宣言を發するところあつた

## 兩將軍から市民へ謝電

菱刈前關東軍司令官岡村前關東軍參謀副長兩將軍は三十日午前十一時三十分離滿に際し大連から荒木地方事務所長宛左の如き挨拶の電報があつた

離滿に際し市民各位の御健勝を祈る、よろしくお傳へを乞ふ 菱刈隆 岡村寧次

## バーンビー報告と英諸紙の論調 一般的に頗る好印象を與ふ

二十一日列國の注視裡に發表されたバーンビー報告は各方面に多大の衝動を與へてゐるが、英國各有力紙はその報告内容を相當詳細に報道して一般に好印象を與へ、更に右に關して各紙は次の如き興味ある論說を揭げてゐる

**タイムス**

視察團の使命か非政治的なものであることは報告書の强調してゐる通りであるが、これによつて一時議會や米國等で問題となつた風說も全く打消された譯である、滿洲國の治安の恢復及び諸施設の整備は熟考に値すると同時に日本の商業に關する報告は最も興味深いものでこの中に日英通商戰を避けるため、兩國實業家の協力を勸めてゐるが、合理的調整は兩國の利するところ多大であるばかりでなく世界通商の恢復にも充分貢獻することと疑ひない

**モーニング・ポスト**

今回の視察は種々の收穫を擧げた、使節は滿洲の發展を實見し新市場を提供したもので吾人は競爭者が現れる前に機會を掴まねばならない、バーンビー報告は外交問題に觸れてゐないが獨立國たる滿洲國の存立が恒久的事實である以上支那を說得して、その迷を醒ます國か現れて欲しい、要するに視察の結果は世界に對し法律論よりも事實に從ふ方が通商上の利益を多く得られることを看取してゐる

**マンチユーリアンガーヂアン**

日英通商協議會は必要に應じて利用さるべく、例へば「ランカシア」と日本との間の行詰つた商議の展開を促すこともその一つの仕事となり得るものである、バーンビー使節は滿洲國から具体的の土産を持つて來たが、日本は滿洲國開發に關する英國の協力をもつて便宜から出た過渡的なものと考へてゐるやうであるな性吾人の極東政策は恂實上の利益より出發すべき問題にあるにせよ報告書からは日英同盟又は滿洲國承認を可とする結論は出て來ない、使節は對日通商に就いて協力及び競爭中止の必要を說いてゐるが低い生產條件と通貨下落の利益を受けてゐる日本がどの程度調整に應ずるかは問題である

# 十年度の公債 合計一億五千九十三萬余圓 前年に比して減少

【東京國通】昭和十年度の豫算は藤井前藏相が公債漸減の方針を樹て豫算を編成したが高橋藏相又此の豫算を踏襲することとなつたので公債發行額は九年度に比し一般會計に於て一億三千百四十五萬六千七百七十二圓、特別會計に於て一千九百四十七萬八千五百三十六圓、合計一億五千九十三萬五千三百八圓の減少を見るに至つたが、各公債發行額左の如し(單位圓)

| | |
|---|---|
| △一般會計 | |
| 震災善後公債 | 七、五五四、三三九 |
| 道路公債 | 五、五七四、九四三 |
| 滿洲事件公債 | 一七〇、七五四、七九七 |
| 歲入補塡公債 | 五六五、八六七、六〇一 |
| 計 | 七四九、七五一、六八〇 |
| △特別會計 | |
| 朝鮮事業公債 | 二四、〇〇〇、〇〇〇 |
| 鐵道公債 | 三八、〇〇〇、〇〇〇 |
| 通信事業公債 | 一四、〇九五、七五四 |
| 震災善後公債 | 四〇四、二四六 |
| 計 | 七六、五〇〇、〇〇〇 |
| △合計 | 八二六、二五一、六八〇 |

## ドミニカ共和國 どんな國か

今回滿洲國を承認せんとするドミニカ共和國は玖馬とポートリコの中間に位するサン、ドミンゴ島の東部三分の二を占め西部はハイチ共和國と境を接して居る、面積一萬九千三百平方哩、人口約百二十萬を有する小國であるが、一萬五千百平方哩迄は耕地であり土地極めて肥沃の爲め農業、牧畜業が盛んで主要產物たる砂糖、コ、ア、煙草、コーヒー等を多量に輸出して居る、國内には金、銅、鐵、岩鹽、石炭、石油等の鑛山が澤山埋藏されて居るが採鑛業はまだ餘り發達して居ない、住民は歐洲人、亞弗利加人及びインデアンの混血種で、主として西班牙語が用ひられ宗教は羅馬カトリック教である、教育は比較的進んで居り全國的に義務教育が普及、授業料を徵收して居ない、同國は永年内亂が續いた爲め米國や歐洲各國に對し莫大の負債を生じ一時は米國に依つて稅關を管理されたやうな財政狀態であるが印度の努力に依つて今は大分改善された大統領ラファエル、モリナ將軍は今年四十一歲、一九三〇年八月大統領に就任、今回再選されたものである

## 郭大臣逝く

滿洲國尙書府大臣郭宋熙氏は今夏以來持病の肝臟癌で滿鐵病院前野醫長の手で新京寬町金城別墅の自宅に於て攝養中であつたが二十九日午前十時病急にあらたまり逝去した、皇帝陛下には午前九時危篤の趣を聽こし召され特に岳宮内事務官を差遣されブドウ酒一打を御下賜あらせられた、行年六十三、葬儀の日取りは各方面と打合せて決定する筈である氏は嘗て吉林省長北鐵顧問等を歷任し令名あり今春帝政實施と共に選ばれて尙書府大臣に親任され皇帝側近に侍して今日に及んだ

## チタから外蒙古へ ソ聯鐵道計畫 軍事的に重要な役割

ソ聯政府では今回チタを起點として外蒙古に至る新鐵道の敷設に着手し工事を急いでゐるが同線はチタ、サンベイスを結ぶ約千六百キロのものでソ聯ザバイカル地方の要地を貫いて外蒙古に入り軍事上極めて重大な意義を有するものである、かのトルクシブ鐵道の竣工が支那新疆省に於ける英露葛藤をしてソ聯側に有利ならしめたと同樣に右新鐵道の完成は將來外蒙古に於けるソ聯の政治的軍事的地位を更に鞏固ならしめるものと注目されてゐる


謹賀新年

滿洲國參議府 參議一同

國務院
國務總理大臣兼文教部大臣 鄭孝胥
民政部大臣 臧式毅
外交部大臣 謝介石
軍政部大臣 張景惠
財政部大臣 熙洽
實業部大臣 張燕卿
交通部大臣 丁鑑修
司法部大臣 馮涵清
蒙政部大臣 齊默特色木丕勒
總務廳長 遠藤柳作

新京特別市公署
市長 金璧東
總務處長 橋口勇九郎
行政處長 董暘
工務處長 武藤吉治

吉林省公署
省長 李銘書
總務廳長 三浦錄郎
民政廳長 趙汝楳
警務廳長 河內志郎
教育廳長 張書翰
實業廳長 羅振邦

# 帝政の春を迎へ彌榮へゆく御一門
## 馥郁たる蘭花の芳香も……かぐはしく……

三千萬民衆が待望の王道政治成つて、榮光輝き渡る大滿洲、五色旗翻錺と都邑にはためき萬象更新する康德二年の早旦、國民擧げて渇仰欽慕する皇帝御一門、御近親の彌榮へゆく御姿を拜するも目出度き極みである

けふ明けゆく東天盟邦の地に在つて、遙か滿洲の空を仰ぎ國民の幸福安寧を祈願される人々、皇弟溥傑氏、皇妹　顯琍及び皇妃の令弟で　顯姬の背の君潤麒氏のお三方は東京市内高圓寺の簡素な寓居のお營みに目出度き**新春**を迎へさせられる、溥傑氏は潤麒氏と共に昭和四年三月渡日學習院高等科から陸軍士官學校に入學、將來滿洲國軍の統率者として規律正しい校規に服され武術に馬術に鍛錬なる軍隊教育を受けさせられてゐるが、繁忙な軍務のかたはら深く日本精神の御研鑽に意を用ひられ、餘暇には茶の湯を習得され日本畫の筆致を讀でられる等、文武兩道への周到なる御修業も頼もしき限りである、お二人とも士官學校寄宿舍に一般學生と同じ樣に起臥されてゐるのであるが、偶の日曜には　顯姬のわびしく待たるゝ高圓寺の寓居に歸られ、お三人睦じく歡談されるがそゞろ滿洲の空に思ひを寄せられると云ふ、　顯姬は夫君が軍務に服せられてからは**秘書**持永武子さんと共に日本女性の美德や日本語の研究にいそしまれてゐると聞くもゆかしき極みである、一方南の空天津の閑居に新春を賀せられ、瑞光みなぎる祖宗發祥の地の安泰を祈られる御父君醇親王のお慶びもさぞかしと拜せられるが、醇親王には昨年八月皇弟溥仁、皇妹四格々、五格々兩姬、御從弟溥修氏夫妻一行御六方と共に御來京遊ばされ、皇帝登極の御喜びを言上される所あり、皇妃御母君金氏、伯父君良席卿氏も夫々昨年八月御來滿されたが、何れも輝かしき帝政の春を慶祝されお健かに新春を迎へさせられるのも民草均しく慶賀に堪へざる所である、尙皇妹二格々姬は鄭總理の令孫鄭貴豊氏夫人として一昨年新婚旅行を兼て御外遊、明朗なる近代知識の**洗禮**を受けられて昨夏御歸滿後はひたすら背の君を扶けて將來滿洲國社交界裡に活動さるべく御修養に專念と承る、このほか日本留學中の方々のうち皇帝の御從弟溥佳氏は早稻田大學政經學部に　御甥憲容氏は京大經濟學部に夫々御勉學中である、御一門は迎春と共にその御紋章が象徵する蘭花の樣に朗かに雅かな香に充ち滿ちてゐる

滿洲國皇帝　皇后兩陛下

皇帝陛下に於かせられては滿洲國建國以來の友邦日本朝野の深厚なる好誼に對し、將又帝制實施に當り日本皇室より御慶祝使として秩父宮殿下の御差遣を拜したることに對し豫ねてより御答禮のため親しく日本御訪問の御希望あらせられた趣に拜察されるが、御渡日準備のため既に宮內府大臣秘書官加藤內藏之助氏は昨年十一月東京に赴き、日本宮內當局と種々打合せを遂げ、宮內省では早くも御宿舍に決定した赤坂離宮に對し內匠寮の手に依り正門及び外廓の改裝裝飾繪畫の取つけ**室內**裝飾の取替へ等の具體的準備に着手し、皇帝御滯京中の御旅情を御慰め申上げる上に最善の用意を滿めてゐる由である

日本御訪問の御旅程は約一ヶ月間、而して皇后陛下の御健康麗はしければ兩陛下御同列で四月上旬新京御出發、大連より日本軍艦に御乘艦一路日本へ向はせられ、橫濱へ御上陸、東京に約十日間御滯在遊ばされ、それより日光、箱根、京都、大阪、奈良など御巡覽の上、五月上旬再び日本軍艦で御歸還遊ばされる御豫定である、皇帝御渡日の晴れの隨員には沈宮內府大臣、入江宮內府次官を始め殆んどすべての宮內府職員のほか、外交部より謝外相が扈從申上げ、國務院よりは遠藤**總務**廳長がお伴申上げる筈である、茲に於て皇帝の御訪日は新興滿洲國建國以來の日滿兩國の融合不可分なる關係を如實に緊密化するものであり、兩國將來のため慶祝に堪えない次第である

# 新興滿洲帝國の政治的經濟的展望
## 豫想される新動向の必然性

(上)

建國早くも四年、政治に經濟に軍事にひたむきに進む新興滿洲帝國の建設は、國際聯盟の不承認決議を尻目に、着々と獨立國家としての形態を整へて、東亞の一角より、輝かしき黎明を東洋に、否全世界に浴せかけてゐる、列國の强ひて覆ふ眼にも、嚴然たる滿洲帝國の存在は犯す可からざる事實となりつゝある、建國當初の國家經營中最大の、そして最も急を要する政策は治安の平定である、治安定まらざる處に經濟發展もなければ政治的進步もない、此處に於て執られた治安第一義の政策も早や建國後四年を迎へて王道の光りは僻遠の地に迄及んで一段落の形となり康德二年よりは政治に經濟に本格的な動きを見せるものと期待せられてゐる、從來採られてゐた基礎工作の上に立てられる文化的政策、これこそ滿洲國の發展を永遠ならしむるも一にその適否にあるのである年頭に臨んで今迄にとられて來た政策を檢討し將來の動向を示唆するのも徒事ではあるまい

### 一、政治的將來

滿洲國の政治的將來に就ては滿洲國と日本との關係並に日本の在滿機關內部に於ける政治經濟と軍事との關係が中心問題である、滿洲國は「獨立國」であり且つ日本と特別な「親善關係」を有するものとして建國せられたこの獨立性と親善性の性質如何、又兩者は如何なる關係に立ち又今後如何なる方向に發展するかといふことに滿洲國の政治的將來は依存してゐる

◇

そもそも滿洲人はその自發的意思に依つて滿洲國を建設し日本は正義に依つて之を援けたのであるといふことが滿洲事變以來公の聲明である、滿洲國政治工作の主眼は滿洲國自體の發展にあるべきものであり、日本が滿洲國を利用することに存してはならない筈である、滿洲國は日本と親善することに依つて、その獨立國としての發展を增進すべく又日本は滿洲國の獨立的發展を援くることに依つて滿洲國との親善關係を增進する筋道のものでなければならない、滿洲國自體の發達は自然に日本國の利益に合致するといふことを以て日滿親善關係の基調であるとなさねばならないしかるに滿洲國は大部分滿洲國人の國家であるから滿洲國の發達といへば即ち滿洲國人の發達でなければならない

◇

滿洲國の發達の中には滿洲國人の經濟的社會的向上のみならず、その政治的地位の向上もまた含むものでなければならない、蓋し政治的地位の向上がなければたとへ經濟的社會的幸福は增し得ても、滿洲國人の國家としての獨立性はゆがめられるが故である、滿洲國については、その建國の宣言中に門戶開放の原則を聲明して居り、從つて日本國との間に關稅同盟若しくは特惠關稅の制定を無雜作に行ひ難いであらう、又滿洲獨立國の官吏は日本人が獨占する事は出來ない筈である、國家建設の當初事件怱忙の際にあつては兎も角、滿洲國の安定するに應じて滿洲國人の地位が一層重んぜられて來る可き筈である、その外經濟的企業の建設若しくは經營についても同樣これを日本人が獨占的に所有若くは支配する事なく、滿洲國人の地位と利益を向上增進せしめる事が滿洲國建國の主旨でなければならない筈である

◇

之等の問題に就て滿洲國人の利益を考慮することは實に滿洲國建國に關する國家的信義の問題であつてこれを裏切る政策は日本國の名譽に關することである、斯くの如き方向に滿洲國の經營が走らざる樣な策が今後とも續けられるであらうし又そうでなければならない實際政治上の問題としても滿洲國人の共同がなければ滿洲國は安定せず滿洲國人の發達がなければ滿洲國は繁榮せざる事は明かである、滿洲國と日本との親善關係を百年に亘つて期待する爲には滿洲國人と共同關係を持續し得るやうにすることが總ての政治的基調とならねばならない滿洲と日本との政治關係はいかに進むであらうか、滿洲獨立國家主義と日本帝國發展主義とはいかなる形態をとつて止揚せられるであらうか、目前の利益に執着して百年の計を誤つてはならないのである

◇

滿洲國の政治工作の進展に關しては現在滿諸機關內部の指導的地位は、重要な問題である、滿洲事變の如き性質の事變直後に於て軍事的權力が指導的地位を占め、之が同時に政治的權力をも掌握するのが普通である、所謂軍政これである、蓋し國家創建の初期にあつては權力の集中と斷固たる實行力を必要とするが故である、所謂非常時の解消と共に政治經濟の政策に關しては軍事的見地ばかりでは妥當といふを得ない、そのことは恰も軍事行動の計畫立案につては政治家が專門外であると同樣である、滿洲國成立前にあつては三頭政治若くは四頭政治の弊害が論じられたが、滿洲國獨立後は所謂三位一體的機關として同一人が全權大使、軍司令官並に關東長官を兼任して在滿機關の人的結合がなされて來たが、今又國策遂行を一層統一徹底ならしむるため、對滿事務局を首相直屬の機關として設置し、現地に於ては關東長官を廢して二位一體となり、一應の整備を終つたが、將來如何なる方向に向ふべきかは今後の實情に見ねばわからない、一方日滿經濟會議の設置を見た今日に於ては經濟的分野に其の活動は制限せられ、少くとも經濟政策に關しては機構上軍政の領域を脫したものとして今後投資貿易移民も其の向ひつゝある所に向ふべきことが明瞭になるであらう、政治外交についても治安の平定と共に逐次此の軍政は廢せらるべきであり且つその日も遠き將來ではないであらう

# 伸びゆく圖們
## 昭和十年の新春を迎へて今年の步みを覗く

新春を迎へた圖們に就て日滿官民各機關の首腦部の意見、感想を綜合すると伸び行く圖們の昭和十年の步みの大體を捕捉し豫見することが出來ると思ふ

### 圖們は今年が誕生

今までの圖們は本當の圖們ぢやない、京圖、圖寧兩線の建設で滿鐵建設事務所が鎭座するし之れに滿洲土建協會の各組が乘り込み之等が堂々軒を列ねて新市街を作つた、金遣ひは荒し、建設材料や需要物資の集散が大したものだつたから密輸も繁昌、花柳界、カフエー街は文字通り不夜城、圖們を見ざれば景氣と言ふ勿れだつたもの背腦未建設事務所の寧北(牡丹江)移轉決行と各組の引揚げ、加ふるに稅關と國境警察隊の密輸彈壓の徹底で全く火の消えた樣になつた、而かもこの經過は當然の筋道、つまり建設初期の空景氣が一朝にして地を拂つて去つた　之れからが赤裸々の圖們眞に建設第一步の圖們である、心ある官民はこの今日の沈靜した市況を却つて力强き準備時代として期待して居る

### 官廳方面の潑刺たる意氣

新開地の跡に圖們停官廳の堂々たるところは少い、先づ稅關は二十數萬圓を以て驛頭新市街に廳舍を新築(竣工九年十月)憲兵分隊は十萬圓竣工九年十一月、領事分館は二十數萬圓十二月竣工、郵局は六萬圓(十二月竣工)小學校七萬圓で第一期建築中、國境警察は六萬圓で今春解氷と同時に着手の準備が整つて居る、何れも落成式をしたかせぬかのぬくぬくである、此の廳舍に納つて朗らかに今年の仕事をやらうと云ふ首腦部は

分館主任　松原久義
同　署長　佐藤五郎
稅關長　松原梅太郎
憲兵分隊長　西永彰治
郵局長　南淺星
守備隊長　野口大尉
國境警察隊長　福田繁藏
外交部辦事處長　朱世偉
鐵路辦事處長　星野榮五郎
小學校長　武友吉藏

序でに民間でも電々の電報局は假局舍だが郵廳二萬圓で二層樓を建て今や電話の擴張に全力を傾倒して居り延吉電業の圖們支店も赤新市街に二萬圓のモダーンな事務所を建てた

### 工場誘致運動の急務

汽車々輛工場は圖們に設置內定と市民は確信し今春實現するものとして今や何等運動がましいことを愼んで居る、更に安圖縣の密林を中心とするパルプ工場も圖們が大工場の候補地の筆頭との情報あり三井系大阪の實業家により綿毛布の工場は既に郊外東京洞に官地買收濟み、その他大理石の採掘、製材油房等々各種工場の設置機運を釀成しつゝある

### 民間團体も活躍

日本人、朝鮮人兩民會の外に九年秋商工會が生れた、會議所の萌芽たるべきものだが會議所令の發布と共に蟬脫するものと信ぜられる、そして代行機關三光組は通關業を營み日本人會の代行圖們魚菜株式會社も着々計畫を進め現に卸市場、小賣地區は江畔に三千坪の敷地を領して建築始んと竣工した、在鄕軍人分會は會員八百を超え之れは基金造成の一助として圖們劇場株式會社を計畫し之れ又劇場建築は九分通り竣工、今春早々柿葺落の運びである

### 圖寧線の利用

今年の秋には稅關の北鮮海港進出があるやうだが、滿鐵側では圖們の將來は一に圖寧線の活用に在りとして居る、如何にも本線とその抱擁する老大な奧地を背景にすると圖們は之れだけで立派に成長する涯しなく伸び行く鐵道沿線への物資供給の本據地は圖們を措いて他にはない、此の約束が圖們の生命と言つて宜いものである

### 民間團体の刷新

鮮人民會は舊臘十二月二十日を以て民會長の改選を行つたが、日本人民會は今一月中に民會議員の半數改選があるが、從來兎角民會不活潑を非難されたのであるから今年は幹部も馬力をかけやうし、實際大圖們を背負ひ潑刺たる意氣で議員に其人を得なければならぬ市民も今度はうんと注意を要する、而して三民團を合体して居留民團の結成まで突進せねばらうそだ、現在の首腦は

日本人民會長　藤井靜馬
朝鮮人民會長　劉賢彬
滿洲國商務會長　王德元
圖們商工會長　秋田民治

等の諸氏である

### 其他

今年內に着々決行して貰ひたいものは第一に我々は神社の創建を數へる、之は日本人民會中心となり既に豫算三萬圓を計上して居るが、數揭離で停頓した、民風が改善し愛鄕心を鼓舞する上から速かに實現を望まざるを得ない、第二には圖寧線京圖線又は北鮮線との交叉要衝で交通は最も便利、風光絕佳氣風も滿洲では隨一の健康地だから是非とも此處に少くとも男女中學位の中等教育機關を設ける必要がある、幸ひ醫療機關の相當大きなものは今度總局の手で新市街に建設されつゝある、數へ來れば圖們の第一年も亦多事多端にして且つ多幸なるものと祝福してよい

# 新年川柳名句集

◇元旦(元日)
元旦を他人めいてる新夫婦
元旦は皆善人に立ちかへり
元日を座り疲れる女親
元日の喧嘩兩方共に醉ひ
元日の凧は揉んで投げ出され

◇年賀狀
薄べらな世辭が滿まる年賀狀
愚の值を云ふて書いてゐる年賀狀
年賀狀の中から見出す女文字
年賀狀ちつと好かないのへも出し
筆慣れのした頃年始狀終り

◇年賀、回禮
齒ブラシのまゝで隣へ云ふ年賀
上役の年賀にどても面喰ひ
年禮の去年もこゝの家で醉ひ
君とこで終ひだと云ふ年始客

◇屠蘇
樂まで春はめでたく飮んでさし
女房へ改まるのは屠蘇の段
十呂盤が疲れたまんま屠蘇に合ひ
屠蘇の座の妻珍らしく髷であり
算用は二二が六の屠蘇きげん

◇雜煮
雜煮腹行つた先でも餅が出る
皆出してやつて母親のお雜煮
神棚へ雜煮の湯氣が靜かなり

◇門松
つゝましく松を飾つて二人ぎり
門松を一應嗅いで犬は行き
女客門松へちと醉うて出る
はなれ馬門松一本引つこぬき
郵便屋肩を替へてる松飾り

◇三ケ日
三ケ日藏はあけないものにする
三ケ日は飯へ立つて伸をする
三ケ日何處へ行つたか二階借り
丁稚にも君と僕との三ケ日
三ケ日袴が見えるト爛屋

◇寶船、初夢
寶船帆を捲上げて當てもなし
寶船布袋の腹が邪魔に成り
惠方より浪路遙かに寶船
寶船鋼もめでたい數に入り
二日醉初夢どこの沙汰でなし

◇初荷
人間を乘せて初夢の歸り路
昨年の借はともかく初荷來る
女房の襷初荷へ爛が出來
御初儀の手が朝空へ鳴る初荷
初荷來て松竹梅は橫へやり

◇歌留多
新妻の歌留多に遠慮深く居る
歌留多會誘つて貰ふ爪を剪り
玉子酒階下のかるたへ目をつむり
讀み役は今年嫁く娘の歌かるた
歌留多會ちらりと見えるとう縮緬

◇萬歲、猿廻し
別け物があつて萬歲辻に立つ
從いて來る子へ萬歲はちとふざけ
萬歲がほめると鼻を子が擦り
萬歲を金一錢で追拂ひ
猿廻し歸れば猿と別に寢る

◇松の內
松の內氣の揃ふた廻道
松の內息ひ出したが飯にする
醉ふてゐる顏を喜こぶ松の內
吉と出た御籤ゃはしやぐ松の內

◇とんど
とんど焚く河原うろうろ寄つて來る
とんどからどんどへ朝の町になり
あたらない人がとんどを掃きよせる
もう一度とんどへ水をかけさせる

◇正月
出來過ぎた燗に目出度お正月
井戶端の乾き切つたるお正月
寢ながらも正月らしい外の音
正月の顏さへ見れば醉ひたがる
逢狀もいつそ嬉しいお正月


# 謹賀新年

滿洲日報社　新京支局長　佐藤武雄

新京地方委員　加藤金保

滿鐵新京用度事務所　大迫元光

日本赤十字社　新京委員部

寄藤正己　新京祝町二丁目四　電話二一一二六番

合資會社　蔦井組出張所　新京朝日通七三　電話三八四九番　四八三四番

撫順公司支店　岩橋敏夫　新京日本橋通　電話二四四三番

肥後醫院　新京永樂町二丁目　電話五七〇九番

陶磁器、硝子器商　佐藤洋行　新京日本橋通四八　電話二八四〇番

食料雜貨　梶原洋行　新京日本橋通二四　電話二二五五番

和洋食　市場食堂　新京日本橋通

經濟調查會委員兼新京駐在幹事　伊藤武雄

新京　渡邊得司郎

新聞聯合新京支局　支局長　小野敏夫

土木建築請負　長谷川工務所　新京曙町三丁目二〇　電話三〇二一番　三七五八番

株式會社滿洲取引所仲買人　叶商店新京支店　叶證券部　新京祝町二ノ五ノ四　電話五六六三番

電柱行燈一手取扱　脇坂商會　新京室町二丁目十七　電話六八六一番

善生堂醫院　新京吉野町三丁目　電話三一七一番

## 范家屯之部

范家屯地方委員 議長 小松六郎

滿洲銀行 范家屯支店

(イロハ順)
電信電話局長 池部才次
郵便局長 石崎小八
混保主任 橋詰安吉
地方事務所 岡田倉吉
區長 狩野茂
小學校 那須純一郎
驛長 宇野謙治
貨物主任 熊澤長一
公醫 秋山幸雄

會席御料理 やよい 山崎きん 電話四七

喪中ニ付年始ノ禮ヲ御遠慮申上候
南滿殖產合資會社 中吉睦哉
新京梅ヶ枝町四ノ六 電話三〇三九番

## 四平街之部

第〇〇獨立守備隊 第〇隊長 本間貞次

梨樹縣長 曲廉本

參事官 澤井鐵馬

四平街地方事務所 所長 下田一夫

四平街地方委員會委員 (イロハ順)
伊藤新八
稻川淺二郎
富田登二
趙漢臣
田中佐重郎
竹村石次郎
添田澤三

四平街鐵路辨事處 處長 韓景堂 副處長 飯村憲五

四平街驛長 大尾袈裟助

四平街憲兵分隊 田中恒男

四平街火曜會

---

獨立守備〇〇第〇〇〇 松井貫一

獨立守備〇〇第〇〇隊 安江綱彥

在敦化大日本帝國領事館 草野松雄 館員一同

敦化日本人居留民會 會長 吉田嚴

居留民會一同

京圖線敦化站 伊部武二

新京鐵路病院敦化分醫院 佐藤源太郎

西本組敦化出張所 井谷實之助

滿鐵敦化農事試作場 船越健一

敦化軍事郵便局 今中清

國際運輸敦化出張所 渡邊萬吉

敦化鮮人民會 高明元

---

混成第〇旅第〇團 步兵少佐 松井卯吉 步兵少校 夔保倉

吉林省敦化縣公署 盧廉海 縣公署員一同

實業部敦化森林事務所 横内鎰男

國務院國道局敦化建設事務所 穴澤俊民

滿洲中央銀行敦化支行 塚田永治

敦化模範稅捐局 王彙英 澤田文重郎

電話局 張德全
電報局 劉清士
郵政局 周江儒

農務會 張貴廷
商務會 張錫恩

滿洲國協和會 敦化辦事處

---

電業有限股份公司 電話一三〇五番

運送業 丸重洋行 飯田正廣 敦化小東門外 電話一六四七二番

合資會社 大敦土建公司 代表社員 飯田正廣 電話一八八番

敦化土建協會 敦化東門外 電話一八八番

敦化金融株式會社 電話六二番

古閑洋行 電一二三番

敦化製材合資會社 西森右衛門 電話一七番

大敦活版印刷所 電話一八〇番

運送業 大陸公司 電話五二番

北門內 理髮 昭和軒

---

### 敦化商業組合 (いろは順)

今城吳服店
畠田商店
德丸商店
德本商店
常盤號
敦昌洋行
大原洋行
大豊洋行
大林堂
田村洋行
竹下商店
滿蒙洋行
蘭(アララギ)商店
裕泰號
森泰號
廣本洋行

根岸公司 電話一一四番

### 敦化旅館同業組合

大正館
富士屋
日の出屋旅館
京都旅館
大泊旅館
都旅館

和洋製菓 大豊洋行 電話二二番

御料理 招福 電話六八番

御料理 若松 電話七二番

敦化城內南大街 新京日日敦化支局 電話一三八番

---

カフエー スズラン 敦化東門內

カフエー 青葉 敦化驛前

カフエー 巴 敦化東門外

# 謹賀新年

## 滿鐵

總裁伯爵 林博太郎
副總裁 八田嘉明
理事 山西恒郎
同 竹中政一
同 河本大作
同 大淵三樹
同 山崎元幹
同 郡山智
同 佐々木謙一郎
同 宇佐美寛爾
總務部 部長課長審査役監査役秘書一同
計畫部 部長課長審査役一同
經理部 部長課長一同
鐵道部 部長課長一同
地方部 部長課長一同
商事部 部長課長一同
建設局 局長次長課長一同

(いろは順)

岩男其二郎
入江正太郎
池田嘉一郎
今村貫一
猪子一到
石橋米一
井上輝夫

井上信翁
西田猪之輔
別府龍
張鴻誥
若月太郎
渡部重吉
樺島信夫
賀來之憲
吉富金一
吉田豊彦
吉村英吉
吉野實
高田友吉
高岡又一郎
高木盤雄
築島信司
難波宗治
村井啓次郎
爪谷長造
野木定吉
小川順之助
小住善藏
小倉鐸二
大坪正
大内成美

岡野勇
大場春吉
太田信三
小川亮一
大島喜一
大磯義勇
大岩峰吉
栗山藤二
葛和善雄
久下沼英
山縣庄太郎
山縣稔
山中繁雄
山岡信夫
増田義男
桝田憲道
前川和
馬越久一
藤本實
福本順三郎
古泉光男
寺田良之助
秋山卯八
坂本治一郎
齋藤勘七

三田芳之助
宮井隆次
白濱多次郎
志村德造
鹿野千代槌
廣石郁磨
森川莊吉
守中清
關根四男吉
市役所課長一同

南滿洲瓦斯株式會社
滿洲電業株式會社
滿洲電信電話株式會社
國際運輸株式會社
株式會社三井物產大連支店
大連汽船株式會社
滿洲石油株式會社
合資會社福昌公司

南滿電氣株式會社
福昌華工株式會社
大連火災海上保險株式會社
滿洲土木建築協會
森永製品 滿洲販賣株式會社
大連連鎖街 丁子屋洋服店 店主 泰豐助
大連連鎖街 勝又洋服店 本店
大連浪速町 營口近江洋行 本店營口新市街
大連市榮町 株式會社大連連鎖街
時計、貴金屬、寶石、銀器、寫眞機、蓄音器の店 森洋行 大連市連鎖街銀座通 電話代表伏見(三)ノ三六三一
大連市浪速町三丁目 船塚洋行 電話四三七九番
清眼堂本店 大連連鎖街 電話伏一四五七番
月星サイダー製造元 月星合資會社 大連市西通り

株式會社 日清油房
株式會社 乾卯大連支店 藥品問屋
株式會社 大洋洋行 大連市監部通 鐵鋼材建築材料
株式會社 ヤマト商會 支店奉天新京ハルビン
株式會社 山葉洋行 大連市信濃町 出張所新京奉天
日本ポリドール 蓄音器大連支店 支店長中原役太郎

合資會社 白鹿商店 大連市紀伊町
大連 株式會社 遼東ホテル
大連舞踊組合 事務所遼東ホテル内
大連 逢阪町遊廓組合 事務所
大連 三業組合 事務所
大連 扇芳亭 浪速町

# 謹賀新年　皇紀二五九六年

文化（白）煉瓦製造元
福興公司
山成四夫
新京ダイヤ街
電話四八〇七番

寶石貴金屬美術品
岩間商會寶石部
新京中央通郵便局前
電話三〇四七番

新京朝日通八九
深町醫院
電話三四一二番
五一六三番
六六六八番

顧問　深町晋五郎
皮膚科醫學博士　深町穂積
內科小兒科醫學博士　水澤衡
產科婦人科醫學博士　河野省二
外科醫學士　久場長幸
齒科九州醫學士　鄉關之助
藥劑師　森安久美
產婆看護婦一同

新京吉野町二丁目二〇
壽し　浪花鮓
電話三二八三番

カフェー　マルセーユ
新京三笠町三丁目
電話五九二九番

洋式帳簿製作並ニ製本印刷
三省堂製本所
新京三笠町三丁目九
電話三三三四番

新京
城內料理店組合

新京
食料品商組合員一同
事務所三笠町一丁目輸入組合內

新京檢番
新京三業組合
竹廼家
桐壺
一つ家
桃園
扇芳亭
すみれ
（いろは順）
組合長　吉村元七郎

新年の御慶び目出度く申し納め候
昨年中は皆様の食堂あらゆる御宴會場として大方の一方ならぬ御愛顧御引立を蒙り有がたく御禮申上候
尚新年も相變りませず御厚情賜り度く御願申上候
一月元旦
味覺の陶醉境
明るい氣分朗かな奉仕
割烹　新京
富士町二丁目新京ホテル隣
電話（二六〇一）（六三二一）（五四五七）番
年頭の祝賀！
新年宴會の御用命は
味覺本位の割烹店
新京へ仰せ付け被下度希上候

大連製氷株式會社
新京出張所
電話二七八六番

舊年中の御厚情を謝し
尚倍舊の御引立てを願ひます
お正月の撮影は元旦より
林田寫眞館
中央通警察向側
電話二二一二番

亥歳の春ほがらか……

# 明けまして お芽出度う

## 輝やく國都に けふ朗かな元旦
### 各方面で盛んな拜賀式

非常時第一年は來た、「一年の計は元日にあり」と古人は我々に敎へてゐる、一九三五年の元旦は新興日滿兩盟邦にとつて最も意義深い日だ、けふぞ固い決意と輝しい希望の門出の日であらう、さて新京の元日、各方面の新年擧式を見る

## 新京神社 祭典

**四方拜** (本祭は神職のみにて奉仕) 昭和十年一月一日午前五時神職一同幣殿にて中臣三度を奏す天地四方を拜す

**元旦祭** 一月一日午前九時一同參列 祓式、開扉、獻饌、祝詞奏上玉串奉奠、撤饌、閉扉 社務所にて直會(所要時間約四十分)

**元始祭** 一月三日午前十一時一同參列 祓式、開扉、獻饌、祝詞奏上玉串奉奠、撤饌、閉扉 社務所にて直會(所要時間約四十分)

## 日滿官民合同 新年の互禮會
### 元旦零時半から公會堂で

新京總領事、新京地方事務所長、新京特別市長共同主催の日滿官民合同新年互禮會は元日午前零時三十分から市內吉野町三丁目新京記念公會堂で催する

**式次**

着席、開會の辭、日滿兩國々歌合唱(滿洲國軍樂隊奏樂)、司會者・滿總領事の挨拶、開宴、(有志の年頭挨拶)、大日本帝國萬歲、閉會の辭

**軍司令部**

一、午前九時半から一同軍司令部前庭に參集、西尾參謀長は一同を代表して南軍司令官に年頭の祝辭を述べる
一、南司令官挨拶
一、終つて有位帶勳者は軍司令部大食堂で御眞影を奉拜
一、同十時から新年祝賀の乾杯
一、南軍司令官はその後全權大使として滿洲國皇帝陛下を御訪問、賀詞を言上し、終

**大使館と總領事館**

大使館員並に總領事館員は午前九時谷參事官邸に參集、新年祝賀式並に遙拜式を擧行する

**關東局** 午前九時半局員一同關東局分館に參集、新年祝賀式並に遙拜式を擧行、各部長より挨拶がある筈である

**國務院** 一、新年祝賀式▲午前九時國務院會議室に一同參集▲國旗に對し敬禮▲國務總理大臣挨拶▲一同敬禮して終了 二、互禮會 ▲祝賀式後國務院食堂に集合遠藤總務廳長の發聲で滿洲帝國萬歲三唱▲十時閉會

**各學校** 新京商業學校、新京高等女學校、室町、西廣場、白菊、各小學校及び普通學校、公學校では各々午前十時から新京中學校は午前九時三十分から各講堂に集合いづれも君が代合唱學校長の式辭あり新年の唱歌を合唱しお祝の菓子をもらつて解散する

**新京憲兵隊** 新京憲兵隊では一同午前九時憲兵隊司令部に參集、新年祝賀式並に遙拜式を行ふ

**鐵道事務所** 新京鐵道事務所の拜賀式は元旦午前十時から庶務室に集合君が代合唱芳賀所長の年頭の挨拶あり、祝盃を擧げ萬歲三唱で解散

**新京警察署** 新京署では一日午前九時から同署講堂で全署員の拜賀式を擧行、祝杯を擧げ新年を壽ぐ

**中央電話局** 一月一日南廣場の新京中央電話局同放送局は各局長室で、新京工務所、同無電工務所は所長室で午前十時からそれぞれ拜賀式を行ふ

**本社の拜賀式** 本社では一日午前十時から全員集合、新年拜賀式を擧行し

## 八島小學校 新春から開校
### 七日開校式を擧行

八島小學校はいよ／＼新春一月七日(月曜日)から開校同日はまづ西廣場、室町兩小學校で午前九時からそれぞれ八島校へ轉校する兒童の分離式を擧げすぐ八島小學校に擔任先生、父兄とともにいたり午前十一時から八島校の開校式に移る

## 國際貸借 調査

財政部に於て過般來準備中の國際收支基本調査は財政部横山理財科長の赴通によつて調査準備を完了し、愈々明春より各方面の材料を蒐集、調査を開始する事となつたが、財政部に於ては收支調査と並行して國際貸借調査を行ふべく着々準備を進めてゐる、即ち國際收支調査は國際貸借調査の完了を待つて始めて滿洲國の流通經濟の全貌が數字化され、滿洲國の國際的經濟關係が受取勘定國であるか支拂勘定國であるか判明し將來の經濟政策貿易政策の貴重なる資料を提供するものである、殊に現在の幣制が云々されてゐる折柄其の調査結果は各方面より注目せられてゐる

## 銀盤の女王 瀧三七子孃
### 五百米選手權獲得

市內吉野町二丁目瀧竹三郎氏長女、新京高女四年生三七子(一七)さんは女子スケーターとして幾多の記錄をもつてゐるが舊臘三十日奉天國際運動場リンクで擧行された全滿氷上選手權大會に出場五百メートルに五十五秒四で美事一等に入つたので愈々明春日光で行はれる全日本氷上選手權大會參加の資格を獲得した

## 新京の花街
## 亥年生れの姐さん連中
### 但し當年廿五歳の分

今年は亥の年だから、恒例によつて、新京花街千有余の姐さんたちのうちから、亥年うまれの人々を御紹介する、新京花街と云つても廣うござんす、附屬地の新京第一料理店組合、附屬地のうちでも新興の橋東ダイヤ街の新京三業組合、新京特別市俗に云ふ城內の新京料理店組合、この組合には南嶺寛城子も加はつてゐるし、南新京驛附近の東京閣なんかも無論この組合でありませう、ところでこの亥年うまれも明治四十四年うまれ二十五歳のところだけをより出したのです、明治二十二年うまれ御年卅七歳なんて御披露に及ぶやうな殺生な事はやめました、また、寫眞がなかなか手に入りません、手に入つてもないしよで集めたものですから本人の氣に入らない、同じ出すのならもつとよく撮れたのを……と不服があるだらうとは豫想して居ります、然し、亥年うまれ廿五歳の姐さん來年はとても運氣がいゝさうですからそれと差別にして貰ふ事とする、先づ第一料理組合を先に順々に、尙他の分は遂に間にあひませんでした

▲千代菊(八千代館)大阪うまれ七年の十月から

▲稲千代(八千代館)名古屋うまれ、九年の七月から

▲静丸(開花)長崎縣うまれ、公學堂の落成式に雛鶴三番叟で三番叟を演つた妓です

▲光麗(曙)大阪うまれ、八年の九月から

▲若春(曙)福岡市のうまれ八年一月から

▲おかる(蓼酒家)島根縣生れ九年二月から

▲五郎(永樂)廣島縣うまれ、八年三月から

▲通之助(永樂)北海道うまれ、九年十月から

▲國福(永樂)鳥取縣うまれ七年九月から

▲一子(嬉野)大阪市うまれ、八年四月から

▲天龍(嬉野)北海道うまれ九年六月から

▲花蝶(壽)長崎縣うまれ、九年一月から

▲京駒(千草)德島縣うまれ八年十二月から

▲菊五郎(鶯翠)大阪市うまれ八年一月から

▲淸葉(泰東)北海道うまれ九年五月から

▲喜龍(大吉)兵庫縣うまれ八年二月から

▲艶吉(大吉)熊本縣うまれ八年十月から

▲千尋(玉川)北海道うまれ九年二月から

▲お鯉(東明)佐賀縣うまれ、八年四月から

▲和勇(泰東)愛知縣うまれ七年六月から

▲照香(泰東)東京うまれ、七年九月から

▲千柳(小川席)兵庫縣うまれ、九年十一月から

▲かほる(千代の家)東京生れ九年三月から

▲駒葉(大和家)大阪うまれ九年二月から

▲秀千代(横濱市うまれ)九年二月から

▲竹美(大和家)佐世保市うまれ、同上

## 滿洲國々樂社の 音樂を放送
### 俳優演藝廢止第一段に 新京局の新試み

新京放送局では平康里俳優演藝放送は良俗を亂し遊興を奬勵することゝなるといふ建前からこれが廢止について協議中であつたが先づ第一段として來る十日から新京孔子廟內の國樂社音樂の放送を中繼することゝなつた、同放送は毎週木曜日午後九時から十時まで一時間放送される筈であるがこれが實施と同時に放送局專屬のバンドや演藝團体を設置することゝなる模樣である

## 新京醫院 年始休業日割

滿鐵新京醫院における年始臨時休業は左の通り

一日休業、二日午前中開業(受附午前十時まで)三日休業、四日午前中開業(受附午前十時まで)五日休業、六日休業、七日から平常通り開業

十河總務の發聲で聖壽の萬歲を三唱して散會の豫定である

## 郷軍聯合分會の 勅諭捧讀式

帝國在郷軍人會新京聯合分會は恒例により五日午後一時から記念公會堂階上第一集會室で左の式次により勅諭捧讀式及新年宴會を開催する

一、勅諭捧讀
一、挨拶
一、宴會
一、萬歲
一、閉會

## 榮轉の兩將軍 大連を出發す
### 卅日扶桑丸で離滿

【大連國通】駐滿全權大使關東軍司令官、關東長官の三位一体の長官として在任一年五ケ月、軍事參議官に親補された菱刈陸大將、參謀本部附に榮轉した前關東軍參謀副長岡村少將の晴れの凱旋の日卅日は、早朝來大連市中はドンヨリと曇り空ながら近來稀な暖かさで、兩將軍を送るに相應しい凱旋日だバースに

**繫留** された光榮の商船扶桑丸前橋頭高く日章旗を飜し、上甲板に幔幕を張り繞らして兩將軍の乘船を待つ、午前九時阪谷次長に續いて遠藤總務廳長以下早くも埠頭に到着次で大連駐在英國及び米國領事、張軍政相、臧參議、林、八田滿鐵正副總裁、高柳、岩井長谷部各在郷將軍を始め全滿の日滿知名の士續々到着、學生、在郷軍人、市民各團体等埠頭ベランダより岸壁を埋めた、一方星ケ浦の星の家に在滿最後の夜を明かした兩將軍は、午前八時輕い

**朝食** をしたため、九時西尾參謀長岩佐憲兵司令官、谷參事官、吉澤新京總領事及び今岡少佐鵜見書記官等を帶同星の家發同九時卅分埠頭に到着直ちに貴賓室に入り官民の挨拶を受け、九時四十分乘船、之に先立ちサロンに待ち受けてゐた皇帝陛下御差遣の石丸侍從武官と會見、石丸侍從武官は皇帝陛下の御懇篤なる聖旨を傳達すれば兩將軍は頭を垂れ、殊に菱刈將軍の兩眼にはかすかな感激の涙が光つてゐた、將軍は侍從武官に對し

**口頭** を以て 陛下の御懇情は菱刈感激の外ありません陛下によろしく御禮を言上して下さい と述べ終つて見送りの官民とシヤンパンの杯を擧げ西尾參謀長の發聲で萬歲を三唱した後上甲板にて見送りの市民團体に手を振つて訣別を告げたかくて午前十時扶桑丸は萬歲の歡呼と在港船舶の汽笛吹鳴に送られて離岸一路門司に向つて出航した

## 名畫鑑賞 二日から上映

新京映畫鑑賞會では豫報の通り一月二日から三日間、記念公會堂で第一回の名畫鑑賞會を開催することになつたが、晝は正午から、夜は六時からの晝夜二回で會費は大人五十錢、軍人學生三十錢、小人二十錢、そのプログラムは左の通り

―プログラム―

一、發聲漫畫「突擊隊」
一、P・C・L全發聲版、矢倉茂雄監督「踊子日記」
三、アカザワキネマ全發聲版「金色夜叉」
四、獨乙海軍省後援全發聲日本版、獨乙ウーファ社超特作「朝やけ」艦船數十隻世界大戰從軍獨兵百餘名出演

## 廻禮は廢め 其代り祝賀會
### 新京署員の申合せ

新京署では例年の廻禮を廢止し一、二、兩日午後一時から同署講堂に全署員集合し祝賀會を開催する

## 全滿會議所 聯合會
### 六日新京で

全滿商工會議所聯合會では滿洲國官吏消費組合問題について一月六日新京商工會議所に臨時聯合會を開くことに決定した

一月一日 舊十一月廿六日 火曜 丁丑 赤口 除 宿

●一白の人 家に籠り當年の安泰を念じ外出は神參のみ 甲と乙と辛が吉
●二黑の人 落付きを第一として輕擧せざるが安全なり 丙と申と丑が吉
●三碧の人 好機を逸し易し惠方詣などして神助を仰げ 甲と乙と丁が吉
●四綠の人 緣談には緣遠し家業大事と氣を揃へて勵め 乙と丙と丁が吉
●五黃の人 祝ふ雜煮も其儀幸運の糧となる奮勵が第一 丙と丑と寅が吉
●六白の人 活氣追々と加はり來る當年最初の幸運吉日 申と壬と寅が吉
●七赤の人 魁に咲く梅が香の四方に薫ずる如き最良日 辛と丑と寅が吉
●八白の人 萬事堅實に爲す心組を年頭に覺悟して勵め 丙と申と庚が吉
●九紫の人 優秀なる發達を遂ぐる新春に入り込む吉日 甲と丙と申が吉

內地歸省中につき年始缺禮仕り候
新京日日新聞社編輯局 松本勇

小兒科 長春醫院 新京神社ノスグ前 (入院随意) 電話 六二四一番

謹賀新年

謹賀新年 滿洲統計協會 新京東六馬路

新京各學校長一同

朝日派遣婦會 新京曙町二丁目二七 電話三四二三番

居留民會評議員 中村七之助 新京大經路一五號

武居重雄 羽衣町二丁目 電話二七八一番

新京キネマ
館主 岸本朝次郎
支配人 三戸壽
解說部 東聲波 三戸ひさし 花柳みどり 保志一郎 長岡三太郎
音樂部 西田俊明 三角勇 藤崎文子
宣傳部 富久美庸一
事務員 吉田保巳 三宅昇 大西鶴江
外お茶子一同

土木建築請負 岩崎工務所 岩崎新市 新京敷島通二四八 電話三一八六番

大石茶舗 新京祝町太子堂前 電話六四二七番

喫茶 松葉 木崎八重子 新京日本橋通八一 電話六七四五番

旅行中に付年頭缺禮仕候 武藤組 武藤儀六 新京永樂町二丁目一番地 電話二四七八番

松竹映畫封切場 株式會社 長春座 電話 三一三四・五七六六番

# 謹賀新年

滿洲電信電話株式會社
新京首席駐在員
新京局所長一同

新京鐵路局

合資會社 清水組新京營業所
新京中央通
電話 二三七八番 二七七一番 五九三三番 五九三四番

滿洲電業股份有限公司
新京電業局

滿洲中央銀行
總裁 榮厚
副總裁 山成喬六
理事 鷲尾磯一
理事 吳恩培
理事 武安福男
理事 劉燏棻
理事 五十嵐保司
理事 劉世忠
監事 闞潮洗

朝鮮平壤
大日本製糖株式會社
朝鮮工場
滿洲代理店
三井物產株式會社
永順洋行
日本砂糖貿易會社

南滿洲鐵道株式會社

新京組合銀行團

## 初春掛合萬戲

# 初夢太平記

櫻家茶々丸
櫻家ベソ子

茶「サア一ッ早いとこお願ひしますよ」
ベ「御苦勞さま、先づ明けましてお目出度う、相變らず宜敷く願ひまつせ」
茶「御同樣宜敷く、新年の事故成可くお陽氣に一ッ騷ぎませう」
ベ「結構ですな、お陽氣結構、何事にも陰氣は禁物ですな」
茶「左樣々々、陰氣田蟲なんて云ひましてな、どうもあれは不潔でいけません」
ベ「貴郎何の話をしてゐなはるんや?」
茶「皮膚病の話で」
ベ「阿ほやな、この人は、止めときんか、えげつない話やな」
茶「へえへえ、えらい失禮しました」
ベ「お話は高尚な方が宜敷うおまんな」
茶「OK!では萬事綺麗事でいきませう」
ベ「その通り、ところで一ッ是非貴郎のお耳に入れたい事があります」
茶「一寸々々、お言葉中ですが私には既に愛人があります」
ベ「へえゝ、それ妾の話と何か關係がありますか?」
茶「關係?貴女私を口說くのと違ひますか?」
ベ「阿ほらしい、貴郎一体女子に口說かれる柄だと思つてますか?」
茶「柄だと思つてます」
ベ「圖々しいな、妾の話はそんな汚らはしい話とドンと違ひまつせ」
茶「やれやれ安心しました何の話で?」
ベ「つまり初夢の話で」
茶「ホ、ウ、どんなのを見ました?」
ベ「富士山の上を鷹が茄子を啣へて飛んでゐる夢です、どうです?」
茶「隨分慾張つた夢ですな初夢と云へば昔から、一富士二鷹三茄子と云ひますが貴女の夢は三つとも一緒ですな」
ベ「不斷の心掛けが宜敷いからです」
茶「威張りましたな、さう云へば私の初夢が又素晴らしい夢で」
ベ「ホ、ウ、伺ひたいもので、素晴らしいと云へば、先づ第一の富士の夢ですか?」
茶「いゝえ」
ベ「それでは、第二の鷹の夢で?」
茶「いゝえ」
ベ「第三の茄子の夢で?」
茶「いゝえ」
ベ「一體何の夢ですか?」
茶「いゝえ」
ベ「伺つてゐるのにいゝえと云ふ人がありますか、失禮なッ」
茶「これはえらい失禮を」
ベ「サア何の夢ですか?」
茶「私のはトマトで」
ベ「トマト?ホ、ウ、トマトがなんで素晴らしうおますか?」
茶「つまりあれは赤茄子と云ひましてな、茄子の親類みたやうなもんで」
ベ「けつたいな理屈やな」
茶「ところでゞすな、富士や鷹のお目出度いことは判りますが、なんで茄子がお目出度いか、貴女そのわけが判りますか?」
ベ「判りまへんな、どういふわけで?」
茶「抑々その源たるや、タルヤ、タルヤ」
ベ「えらい難かしい顏しましたな」
茶「今から恰度八千年以前......」
ベ「仰山又古い事ですな」
茶「只今の支那の國に、奈と云ふ王樣がありました、つまり奈王や」
ベ「ホ、ウ、ナポレオンと違ひますか」
茶「違ふ違ふ、ナポレオンの奈翁はフランスや、第一年代が違ふ、奈王は飽までも支那の奈王です、若し違つたら切腹する」
ベ「切腹なんぞせんでもえゝがな」
茶「而らば奈王を承認しますか」
ベ「滿洲國みたいやな、承認します、承認したらどうなります?」
茶「承認次第こゝに大戰爭が起ります」
ベ「ホ、ウ、えらいこつちやな」
茶「扨てこの國を侵略せんとチャンスを狙つてゐた隣國の王樣が、時しも秋の末つ方大軍を率ひて押寄せ來り、忽ちの中に奈王の城を十重二十重に包圍してしまひました」
ベ「成程成程!」
茶「先頭に立つたは云ふまでもなく敵將と覺えたり、きらびやかなる甲冑に身を固め太く肥えたる白毛の駿馬に、金覆輪の鞍置いてガッキとばかり打跨がり、飾り房ある長鎗を頭上に振りかざし、天地に轟く大音聲!」
ベ「まるで講談ですな、何と云ひました?」
茶「チャン、シウマイ、カレイライス、シチウ、ワースチヤシウメン、ポコペンポコペ」
ベ「何です夫れは」
茶「支那語で、最早逃れぬ當城の運命、いで我が軍門に下れ!と云ひますな」
ベ「けつたいな支那語やな貴郎何處でそんな言葉覺えて來ました?」
茶「へゝ、支那料理屋の看板だ?」
ベ「阿ほ!それからどうしました?」
茶「そこで奈王もともとより勇武の大將、何條以て默るべき、忽ち大喝一聲、無禮者つ下れッと、これを支那語で云ふとポシャ、シキモ、ツシャポズン!」
ベ「やれやれ、又解らん言葉が出ましたな、それも支那料理の看板の方ですか?」
茶「違ふ違ふ」
ベ「なら、なんですか」
茶「シャッポと股引とシャツとズボンとを逆樣にしたんです」
ベ「おやおや」
茶「そこで愈々大戰爭です初めは弓矢の戰ひ、その內に奈王の軍も、弓矢の手合せ面倒なりと、城門サッと押開いて、手に手に槍、薙刀、青龍刀得物々々をひつさげて、ドッとおめいて打出せば、敵もさるもの、それ逃すなと討ちかゝる、靜寂の支那大平原に起る劍戟の叫喚、屍山血河の修羅の巷、チャッ、チャッチャッチャカチャッチャッ、ボーン......」
ベ「まるで活動ですな、けれどもその、ボーンと云ふのは余り聞きませんな」
茶「支那の劍戟には必ずこれが入ります」
ベ「それからどないしました?」
茶「お互ひに鎬を削つて戰ひましたが、仲々勝負が決しません、その日はそのまゝ物別れとなつて對陣しました、その翌日も翌日も無勝負の物別れ、かくて十日過ぎ、二十日經ち、一月過ぎ、二月と成り、相變らずの無勝負對陣、「兩軍共に零對零の接戰、勝敗の決何れに上るや、未だ全く豫測を許しません、ファインプレイの續出に見物席は熱狂の極に達して居ります、かくて、果してこの回奈軍幸運の一點に惠まれませうや、それとも又々零敗に終るや、暗澹たる神宮球場の空低く、一羽の晩鴉森のねぐらへと急いで居ります、愈々ラッキー、セヴン、ラッキイ、セヴンでございます、ピッチャア大きくワインド、アップ、第一球、投げました、打ちました、ファウル、ノー、プレイ」
ベ「あきれた!アナウンサーの眞似までせんでもえゝがな早くしてんか、話がやゝこしうて叶はん」
茶「OKOK!一月過ぎ二月經つ內に、困つた事に奈王の城中には、最早食糧が缺乏し、次第に有らゆる物が食ひ盡され從つて士氣全く衰へ遂々飢死を待つか、敵の軍門に下るか、二ッに一ッを選ぶに至つてしまひました、奈王は毎日家來共を集めて小田原評定......」
ベ「八千年前に小田原評定がありますかいな。言葉を愼みなはれ」
茶「ホイホイ。時しも朔風肌に寒き暮の事。さらでだに首の廻らぬ年の暮ー」
ベ「厭な洒落ですな」
茶「最早是までと思はれたある一日、陸軍大臣の須大將と、云ふ人、城の櫓に上つて裏手の山畑を見ると、アッ、ラ不思議や!」
ベ「猪がカッポレでも踊つてゐあしたか?」
茶「まぜつ返しちやあかん今まで知らなかつたが、今見ると、廣い々々山畑一面、紫色の花盛りです、そこで早速奈王に注進しました、二人で行つて見ると、その紫色の花を付けた植物の枝には、これも赤紫色の果實が仰山なつて居りました。お腹の空いてゐる時とて、ヒョイと取つて食べて見ると、これが又大變味が宜敷い」
ベ「ホ、ウ、天の助けですな」
茶「占めた!と云ふので、直ぐにこれを取つて全軍の食糧にしましたな、サアからなると、唯軍に食糧が出來たばかりではない、確かに天の加護であると云ふので、全軍勇氣百倍です、かくして遂に長い間の對陣に疲勞した敵軍を鏖殺しにし、聲高らかに萬歲の聲をあげたのが、明けて正月一日の朝まだき」
ベ「お目出度いな」
茶「全く、そこで問題はその全軍の食糧となつた紫色の果實です全く初めて見たもので誰もその名さへ知らない」
ベ「成程!」
茶「而しこれは我軍の大恩ある果實だと云ふので、奈王がこれに名を與へました、即ち奈王御自身と、發見者須大臣の名を取つて、これを奈須と命名しました、これがつまり只今の茄子や」
ベ「アッ、なアんや、今までの、それ茄子の起りですか長物語やな、へえゝ、これは驚いた、それで?」
茶「それで、戰に勝つたのがお元日だと云ふので、こんな目出度いものやさかい、お正月の夢になりと見たい、見たら一年中運がえゝに違ひない、と云ふので、それ、初夢のお目出度いものの一つになつて、一富士二鷹三茄子や」
ベ「えらいこぢつけですなへえゝ!貴郎仲々こぢつけ學者やな」
茶「おだてんとおいと呉れ」
ベ「けれども一つ判らん事があります」
茶「伺ひませう?」
ベ「茄子と云ふたら夏の物です、それが年の暮からお正月にかけてあると云ふわけは?」
茶「アッ成程!それは...」
ベ「サアそれは?」
茶「なにしろ八千年も前の事です」
ベ「フンフン」
茶「それで、昔は萬事物事がぞろッぺえでしたから、季節も間違へたに違ひない」
ベ「ハイ、莫迦々々しいお笑ひで」
茶「お粗末でございました」

### 新俗小話　異つた意味

夫「お前、去年のお正月は、近所の若い人達と盛んに羽根をついてゐたが、今年はちつともお隣りの息子さんなぞと、羽根をつかないんだナ」
妻「え、何しろ、子供が出來ちやつたんですもの、近所の若い方達、もう妾を相手にして下さらないわ」
夫「うむ、さうか、いや、實際子供つていふものだなア」

新京警察署
警部 渡邊政雄
警部 加藤爲一
警部 倉田庄五郎
警部 堀內幸治
警部 飛田力造
警部 門田實

旅行中ニ付年賀欠禮仕候
報知新聞新京支局長 中西眞

新京圖書館長 木下助男

宮木嘉久二
新京吉野町一ノ五

頭道溝商務會 坐辦 孫化南

すみ安商店
新京室町二丁目 電話三〇〇五番

提灯雨傘 三宅提灯店
新京東一條通 電話二六四八

新京カフヱー組合

| | | |
|---|---|---|
| 三笠町二ノ九 | ミカサ | 電五七三五 電二四六八 |
| 東一條通一七 | 精養軒 | 電二三〇五 |
| 同 一一 | 赤玉 | 電四八五〇 |
| 同 二四 | 東洋軒 | 電二四三六 |
| 三笠町二ノ一三 | ライオン | 電二三七九 |
| 同 三ノ一 | モナミ | 電二九三〇 |
| 東二條通一一 | 上海 | 電四八七八 |
| 大和通二六 | ミス東洋 | 電五八二〇 電六三七九 |
| 東一條通二六 | ポプラ | 電二九七二 |
| 吉野町三ノ八 | 二葉 | 電三九四二 |
| 富士町三ノ三 | 富士 | 電三四五六 |
| 三笠町三ノ一四 | ミツワ | 電二二八〇 |
| 東一條通二八 | 美人座 | 電二二九三 |
| 同 一二 | ローマンス | 電三七〇六 |
| 東四條通一六 | ミス新京 | 電三七三三 |
| 東三條通二六 | 滿洲 | 電四八八二 |
| 祝町二丁目三ノ四 | 朝日 | |
| 日本橋通五八 | 日本橋 | 電五八三五 |
| 大和通五〇 | 箱根 | 電三二二二 |
| 日出町二ノ二 | アブサン | |
| 同 | コンパル | |
| 祝町二ノ三 | ハト | 電三八四六 |
| 富士町二ノ二 | 銀座 | |
| 吉野町二ノ四 | 初音 | 電五六一三 |
| 東二條通一〇 | トリオ | 電五二三一 |
| 祝町二ノ一七ノ四 | キング | |
| 吉野町二ノ五 | ロートル | 電二〇七二 |
| 祝町三ノ三 | ノラ | 電六七七三 |
| 老松町一ノ三 | 麗人 | 電三八九四 |
| 三笠町三ノ四 | マルセーユ | 電五九二九 |
| 永樂町一ノ一 | ゴンドラ | 電三四七四 |
| 東二條通一一 | 人形座 | 上五七一五 下二五三〇 |
| 永樂町一ノ六 | 春 | 電二六九四 |
| 吉野町四ノ三 | モダン銀座 | 電五七三三 |
| 永樂町二ノ二 | プランタン | 電四七八五 |
| 八島通四四 | アリス | |
| 老松町一ノ三 | 日輪 | 電五三五九 |
| 八島通三六 | バー東京 | |
| 梅ケ枝町一ノ一四 | バーダイヤ | |
| 三笠町二ノ一五 | マスコット | 電二八六九 |
| 吉野町四ノ八 | 世界 | 電五九七四 |
| 富士町二ノ一五 | 香蘭 | 電五二五八 |
| 入舟町三丁目ノ一 | 銀麗 | 電五三九〇 |
| 三笠町三ノ三 | 梅園 | |
| 東一條通一五 | 天地 | 電二五五四 |
| 日本橋通一七 | 國際花壇 | 電五九五九 |
| 吉野町二ノ八 | 銀パレス | 電六九三〇 |

新京旅館組合

新京下宿業組合一同

會席御料理 大辰
新京三笠町四丁目
電話二九八八番

新京第一料理店組合
新京富士町二ノ一八
電話二三九三番

# 謹賀新年

皇紀二五九五年

食料雜貨 今田商店 本店 電話二九三二番 支店 電話三三三三番

助産專門 博愛醫院 院主 宇野ノブヨ 新京朝日通十九番地 電話五九四七番

食料雜貨 日華洋行 電話三二四二番 三八二五番

生そば、台灣ビーフン チャップリン 新京大和通 電話三四三〇番

新京百貨店 奥ノ洋品部

和洋雜貨 大葉商店 大和通り三十一 電話二六七四番

和洋御菓子喫茶 大阪屋 新京興安大路 電話五七九二番

世帶道具、御茶各種 河久商店 新京三笠町二丁目 電話三二〇四番

吉野屋樂器店 新京祝町二丁目 電話三〇六八番

大長洋行 新京ダイヤ街 電話五五一三番

大正堂時計店 外店員一同 新京東一條通廿二

中野洋行 店主 中野常次郎

野中産婦院 新京三笠町一丁目 電話二二〇一番

大和藥房 新京吉野町一丁目 電話二九七一番

やまき呉服店 新京吉野町二丁目 電話三八〇五番

食料雜貨 山本商店 新京祝町二丁目 電話二九五八番

建築材料 船越商會 新京日本橋通り 電話二六四一番

食料雜貨 藤村商店 新京室町二丁目 電話二四二四番

布路洋行 新京日本橋通六三 電話三一五七番

藤崎工務所 新京吉野町一丁目 電話三三二六番

生そば 丸長 本店 電話二一四二番 支店 電話三一三九番

食道樂 青柳 電話三〇六〇番

世帶道具 酒井商店 新京吉野町二丁目 電話二四六四番

食料雜貨 さかもこ商店 新京中央通十七 電話二九四一番

高級製靴 金城靴店 新京東一條通 電話二九五二番

金華堂時計店 店主 西藤慈重

菊屋樂器店 新京富士町三丁目 電話六四二五番

裕泰號 店主 末松正實

食料雜貨 三浦洋行 新京ダイヤ街 電話二五六七番 三〇〇四

菓子の店 峰長春堂 峰正

新京地方委員 伊藤正夫

新京商工會議所 會頭 石崎廣治郎

新京地方委員 五味武太郎

新京地方委員 佐藤宇治太郎

新京輸入組合 理事 久末吉次

新京市場會社 專務 砂原滋二

新京地方委員 上田賢象

新京取引所 所長 伊藤惣次郎

滿鐵用度事務所新京倉庫 大迫元光

新京ヤマトホテル 支配人 千葉千代吉

石橋與三吉 新京吉野町一丁目十五 電話五六三七番

服部商會 服部貞夫

豐泰號 新京ダイヤ街 電話二九三七番

自轉車商 大本商行本店 新京梅ヶ枝町二丁目 電話四八三六番
大本商行支店 新京日本橋通二二 電話二五五〇番

合資會社 和登洋行 店主 伊關庄太郎 新京日本橋通十八 電話二〇四〇番 五七五一番

太陽ホテル 新京ダイヤ街 電話四九七九番 六五八五番

大信洋行 店主 村上照

通濟公司 店主 谷口清

蔦屋旅館 新京梅ヶ枝町三丁目 電話三二二四番

首都乘用馬車人力車營業組合 主事 武藤荒三郎 新京大經路四十二號 滿電二二一〇

國際運輸株式會社新京支店 支店長代理 上林季四

新京地方委員 辯護士 黑田實

新京 近藤組 補修部 近藤嘉壽直 電話五四三〇番

廣春洋行 吉田廣盛

世帶道具と食料品の店 遠藤洋行 新京中央通三六 電話六七四九番

長春洋火工廠 佐藤精一

富山縣滿蒙輸出組合 新京販賣斡旋所 貿易商 三富公司 三田逸夫 新京大和通三二 電話四八七一番

新京綿布商組合 イロハ順
伊藤忠商事株式會社新京出張所
日本棉花株式會社新京出張所
東洋棉花株式會社新京出張所
不破洋行新京出張所
正信洋行

食料品雜貨 三浦正商店 新京豐樂路七一三 電話五四二五、六五四四 五四二四、六五四五

新京興信公所 清水末一 新京中央通

隆泰公司 島名福十郎

美術看板 日の丸看板店 新京朝日通 電話四七二三番

# 明けて芽出度い
## 「滿洲 花街の巻」
### 女ならでは夜も日も明けぬ
### 滿洲國の異風景

「新京花だよ滿洲の都、咲いて匂つてどこまでも…」新興滿洲國も御多分にもれず、女ならでは夜も日も明けぬ國の一つだ、雪に映えてキラキラ昇る、康德三年元旦の太陽に跪拜して、この年の彌榮をを祈る三千萬の新願の聲を、そつと聞けば「どうぞ今年も金運女運に惠まれます樣に、浮氣をしても女房に分りません樣に、廣大無邊の太陽樣に御願ひ御願ひ」…こんなお手合ひに願まれる太陽殿の迷惑もさる事乍ら、これでは「色男金と力は無かりけり」の日本國の金運女運の神樣から苦情が出やう、明けて芽出度い正月の街は

**緣起物の御馳走をたらふく**

食べて「新喜々々」「同喜々々」で陶然とした善男善女のむれで一杯だ、家々は戸口に「爆竹一聲除舊歲、梅花五點迎新春」なんかと書いた春聯をはり出し、方々でなりひゞく爆竹の音も一入と正月らしい、滿洲花街も赤や青の紅提灯や、五色旗で飾り立て、今日を晴れと着飾つた妓や、今流行りの「不來不來很不來」（待つても待つても來んワイナ）なんて鼻うた交りの案見しの人の群で、大變な雜沓振りだ、浮川竹に身をしづめたら、一生苦界で老ひ朽ちて行く滿洲妓女も今日ばかりはせめても憂さを忘れて騷がうと言ふのであらう、四疊半の爪ひきならぬ賑やかな鑼鼓のはやしで底抜け騷ぎをしてゐる、けふあたりこゝに登樓る客は、夫々馴染みの女の家にあがる、だからいつもなら客が入つて行くと、ボーイがカン高い聲で叫ぶ「見客」（姐さん御新規イ）とどなるあの奇聲は聞えない、耳に入るのは爆竹にまじつて「旦那待つてたワョ」などといふ妓女の嬌聲ばかりだ、けふあたりあまりパッとしない初會の客などが入り込まうものなら

**大底はいゝ工合に女に振られて**

了ふ、尤も日本の樣に「あたしやあんたが嫌ひざます」とは云はないが、變つた振り方をする、顏見せの妓女は、一歩三臨といふ一足歩く内に三度も男を惱殺するといふ滿洲妓女獨特のシャナリシャナリのあんよで客の部屋の敷居に、つと左足から一歩踏み込み、じーつと男の顏に見入つて、すぐ次の瞬間その左足を後ろに引いて部屋を出て行く來る女も來る女も皆それだ、この仕草を翻譯すると、例の「いやざます」になる、なれぬ田舍つぺえにこれが分らない、妓女も客を振るつもりがなければ、左足を一歩敷居に踏込んで、其足をすぐ引かずに、右か左に步を運ぶ、左足を後ろに引いたら、もうあきらめなければいけない「だつて乃公の顏をじーつと見てニコリとしたぜ」とべそをかいても追付かない、しかし考へ樣によれば、振られた連中は果報者の中に入るので、一旦馴染みとなると妓女から、やれ今日は新年だからお小遣ひだの、やれ麻雀に敗けたから尻をぬぐつて頂戴のと、そのうるさいこと

**色男になるのもつらいこと**

だて、しかし感心なことには着物はあまりねだらない……といふのも、妓女達が胥官見として妓館に見習ひに買はれて來ると、一生その女は着物と食物は妓館の亭主が引受ける事になり、愈々一本の妓女即ち紅官兒になつてからも同じで、一生稼げる丈け稼がされる慘めな生活になるのだ、いゝ金持の客がついたとなると、妓館の亭主は日本の樣に四分六とか、七分三分でなく丸取りするのだからほくほくもので、その妓女には益々上等の着物をきせてやるだから妓女が客に着物をねだる事は云ひ直すと、妓館で冷遇されてゐるといふ事をしやべる事になるので、口には出して云はない、云はれないのだ、日本なら元旦の花街なんて、粋な新内でも入つて「一寸しんみりするのだが、大陸の正月は線が太い、どんどこどんどこ聞える太鼓が爆竹の音と交錯して近づいて來ると「好啊」とばかりどつとあがる歡聲高脚踊りの一團がやつて來たのだ、各々足には數尺の竹馬樣のものをつけて思ひ思ひの假裝をこらした群が、よろこひのあまりに笛、太鼓に合せて、見ぶり足ぶり面白く街を練り步く元旦の恒例催しものだ、その中にはいつもは

**妓女に意地惡い顏ばかり見**

せてゐる妓館の打更的（不寢番）龜奴（妓夫太郎）なども白粉をぬつて、おどけた姿を見せて女達に「どうじやどうじや」と下手な踊りを見せて上機嫌なのも新年なればこそだ

今日あたり泊る客は正月だといふので、平生の二倍も金をとられる上に、朋輩の妓女達が、どやどや客の部屋になだれ込んで、明け方までゞも麻雀をやらかす、そうでな

たも十七になつたな「素梅お前のいゝ人はまだ來ないか」などとうまく話しを合せて、やに下つて御座る、そうかと思ふと

**どの部屋でうたつて居るの**

か低い女の聲が胡弓に合せて

正月裡來是新春
家々戸々點紅燈
人家夫妻團圓日
孟家女丈夫去長城
二月裡來熟陽々
燕子双々到南陽……

遠い昔の想夫の唄「孟家女長城に哭く」の一くさりだ、春が來たとて夫を想ひ、愍くなつたとて孤獨の身のやるせなさをうたつたこの唄の調べは、妙にさひしいものだ、一流の妓館では精々廿三、四位までが盛りで、今年の干にあたる廿五才の妓女では、おつゝけ二等妓館あたりに轉賣され、果ては苦力相手の四等子に身を落し、終世涙の乾くことの無い運命をかこつ事だらう、さんざめくこの

**新春の花街に錦繡の着物に**

身を包みながらも、段々おとろへて行く吾身の容色を心配してため息をついてゐる千の妓女たちのために、女ならでは夜も日も明けぬ國の神樣、平生拜んでもらつてゐる義理からでも、こゝは一つ何とかならんものだろうか

### 新春小話
**兄を思ふ**

妻「まア、いくらお正月だからつて、さう續けて飮んで仕舞ふもんぢやないわよ、少しや兄さんの事も考へて、今に御年始廻りから歸つたら、一緒にお飮みなさいよ、貴君はちつとも兄さんのことを思はないのね」

夫「ところが、兄貴のことは年中思ひ續けてゐるんだ、今もみんな飮んぢまふまで、歸つて來なければいゝが……とな」

## 吾々にお馴染深い〝滿洲の猪〟
### 農家には無くてならぬ存在

亥年のお正月を迎へたので我々の生活に馴染深い滿洲の猪（豚）はどんなものであるか簡單に一瞥して見やう

先づ斷らねばならないことは、こゝに述べる猪は通常の猪ではないことである、即ち豚 野猪の進化したものである、猪（豚）は滿洲では同種中の絕對多數を占めてゐるから豚について語ることはあながち牽强附會ではあるまい

滿洲人の生活するところ、都會であらうが田舍であらうが、豚（猪）を見ぬことはない、滿洲農家の副業として最も普遍的なものは豚であらう

凡そ滿洲農民の生活樣式に最もよく合致した二つの家畜がある、その一つは驢で他は豚である、前者は體の割合に較べて多大な勞力を提供し、後者は野菜の如き迅速なる發育と無雜作な管理で極めて豐富な肉を提供する

今、滿洲在來の豚を種類別に見るに黑猪、白猪、花猪の三種に分つことが出來やう

黑猪　成長はおそいが肉味は最も佳く體量は二十月位で三十貫乃至三十五六貫に達するものもある、これに屬するのが滿洲猪の大部分である

白猪　性虛弱で脂肪分少く肉味も前者に及ばない、體格は矮小であるが發育は迅速で生後七八月で成熟し滿一ヶ年位で二十二三貫になる

花猪　體軀最も大きく晩成である、北滿地方に多く南滿には極めて少ない

滿洲の豚（猪）は食用としてはバークシャ種に劣つてゐるが、その蕃殖力の大なる點では第一位を占めてゐる、普通には一年に二產二年に五產のものもある、一產の平均十四、五頭、多產のものは二十四、五頭に達する、この多產は他種に見られぬところで、支那豚が食用として多くの缺點があるに拘らず、廣く一般に飼育されてゐる證據である

滿洲人の肉食は殆ど豚肉に依つて三分の二以上を占めてゐる、それは丁度日本人の魚肉を用ふる程度以上であらう

たゞこの例外に回々敎徒の集團があつて、彼等は猪を極端に嫌つて絕對にその肉を食用に供してゐないけれど、要するに滿洲の猪は極めて有用な動物であつて世間でよく言はれる「豚に眞珠」などといふ失禮なたとへは滿洲では差控へなければなるまい

## 「猪の話」
### いろ〳〵のその傳說

猪は山野に棲んで時々田園に出て荒し廻りますが、昔は到る處に棲んでゐたものとみへます、史上に現れたものは頗る古く日本では神代から既に文獻に出てゐます、それによりますと大穴牟遲といふ神がありまして性頗る勇猛「泣く兒も止める」といふ……當時は神代ですから「泣く神も云々」といふのでせう、兎に角諸神恐れ戰き、總スカンの神だつたとみへます、或夜諸神は密かに會して大穴牟遲神を亡すべく策を繞らしましたが仲々良策なく、會はお流れにならうとしました時、大國主神の兄弟の八十神が策を提して云はれるには「猪狩りに事寄せて大穴牟遲神を谷間に誘ひ出し追下した猪の牙にかけたがよからう」との提案に名案々々といふので早速大穴牟遲神の日頃の勇猛を稱え、猪の生捕役とし諸神は山中に分け入り猪を追つたが追へども追へども猪は悉く生捕りにされ、一向に手應へがないので智神の八十神再ひ策を繞らし猪に似た赤石を燒いて山頂よりころがしたところ、大穴牟遲神はガッキリ之を抱き止めた爲め何ぞたまらん忽ち眞黑焦げに焦げて燒死したといふ事です

又古い文獻によりますと大江山に居た猪は其肌茶褐色を帶び背上の毛は鐵條網の如しといふまさか昔はそんな形容はありませんが兎に角「いかり毛」と云ひまして、猪が怒つて之を立てますと熊も逃げたといふのでありますが、年經た猪は仲々智惠もあつたとみへまして松脂を體に塗り泥にまみれて肌を固め敵襲に備へたと云ひますから今で云ふ防彈服を着た樣なもので、人間もこのところ猪の眞似をしてゐる譯ですが、私達にお爺さんが話して吳れました「昔し々々奧山に」の中に猿が松脂を塗つて獵師の矢を平氣で受けたといふ事もどうやら猪をもぢつたものらしく、猿の眞似を猪がしたのだらうとおつしやる人もありませうが古い文獻によりますと、どうやら猪が元祖らしいです

次に猪武者の語源を生んだ猪の奮鬪史を紹介します、今でこそ東北地方には猪が殆んど居ませんが昔は相當棲んでゐた事は色々の本に出てゐますところが神代には全く居なかつた樣で、日本武命が夷蝦征伐の途今の靜岡の燒津で草薙劍を振ひ給ふた時其處に棲んでゐた猪が東に向つて一目散に馳け出し日に夜を次いで走つたのが同地方に猪の棲んだ始まりと云ひます

まさかと思ひますがどこか關東地方の北境には猪走といふ地名があるそうで、その時の猪からヒントを得て名付けたのだと土地の言傳へがあるそうです

### 新年俳句

◇松の內

うかうかと月夜になりし松の內　梅東
古塀のならの都や松の內　青々
米付けて馬來る宿や松の內　閑村
猶思ふ充閭の慶々松の內　于釣史
奧深き宿と成りけり松の內　鉄石

朝鮮總督府事務官
兼外務省事務官
關東軍司令部囑託
堂本貞一

新京地方事務所
所長 荒木章

國際運輸株式會社
新京支店
支店長 宮原芳茂

新京頭道溝郵局
局長 樋口好男
外局員一同

三井物產株式會社
新京出張所

滿洲國協和會
中央事務局

和洋百貨
株式會社 三中井新京支店
支店長 河井文三
日本橋通七九
電話二四一二番

株式會社 丁子屋新京支店
新京老松町四番地

# 謹賀新年

皇紀二五九五年

新京地方委員 辯護士 辨理士 沼田勇

大山木廠 大山龜藏 新京和泉町三ノ一六 電話三一一一番

大阪朝日新聞社 新京支局長 吉田淳

新京警察署 署長 高山勝司

大連新聞社 新京支社長 高橋勝藏

瀧竹三郎

新京取引所信託株式會社 專務取締役 山下善代

寶由洋行 前田伊織

日本電報通信社 新京支局長 藤井祥正

南滿瓦斯株式會社 新京支店長 青木哲兒

權太商店 穴澤喜壯次

大阪毎日新聞社 新京支局長 櫻井重義

日本商業通信社 滿洲商業通信社 新京支社長 西條德重

新京朝鮮人居留民會 會長 金道根

盛京時報新京支社 支社長 湯畑正一

國際運輸株式會社 新京支店長 宮原芳茂

新京居留民會 會長 品川主計

新京鐵道事務所長

新京驛 區長 一同

辯護士 引地寅次郎 新京永樂町三丁目廿一 電話五九五〇番

瀨下金 新京蓬萊町二丁目 電話二三九四番

在新京日本總領事館 總領事 吉澤清次郎 領事 花輪三次郎 副領事 佐々木高義 外館員一同

新京地方委員會議長 辯護士 辨理士 法學士 大原萬千百

新京郵便局 局長 高橋富十郎

鐵骨製作、土木建築 服部組新京鐵工場 岩崎大次郎 小泉智海

滿洲國宮內府御用達 大上洋服店 支店長 柚木良七 工場長 石留寅次郎 ダイヤ街（電話二二二四番）

株式會社 大林組新京出張所 新京永樂町三丁目五番地 電話長二六八〇番

株式會社 大タク新京支店 新京羽衣町一丁目 電話三〇三・四〇二・五〇二番

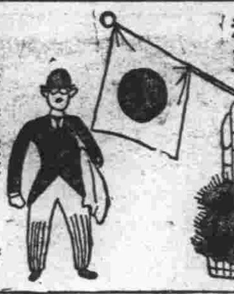
特許大和襖 特許トキロ襖 製造販賣元 藤川商店 新發屯崇智路五〇〇 電話五四二九番 本店奉天青葉町 支店錦縣、鞍山、圖們

公債株式問屋 新京射越屋商店 新京祝町四ノ一三 電話二三四九・六一六五番

新京煉瓦業組合

## 一月ごよみ

元旦



元日や晴れて雀のものがたり
いよ／＼皇紀二千五百九十五年の新春であります。

一日　四方拜。水呑百姓のせがれから關白太政大臣になつた豐太閤秀吉が生れたのは天文五年の元旦でありました。吾々も生れかはつた心で、華々しい昭和第十年のスタートを切りませう。

二日

二日　文祿三年のこの日は、鬼將軍の加藤清正が、十文字の槍をしごいて敵陣に突入し、雲霞のやうな大軍を蹈にかけて、朝鮮は蔚山の堅城を破つた日であります。吾人も赤突撃だなど、勇猛心の一杯機嫌でよからぬ計畫を立てるやうな事は禁物ですよ。

三日　滿洲事變で、日章旗を先頭に、威風堂々と錦州へ入城したのは昭和七年一月のこの日。宮中では此日元始祭の御儀が行はれます。正月も三日過ぐれば人古しといふ俳句もありますが、正月氣分の朗らかさだけは、年中失ひたくないものです。

五日　新年宴會。日露の役の旅順開城は、歷史的の大異彩でありますが、この五日は、乃木將軍が敵將ステッセルと會見した日であります。會社の新年宴會、或は朋友同志の新年宴會に、トラにならぬよう御用心。今年は亥年デスゾ

七日　七日正月、風邪の豫防になるさうですから、七草をたくさん召上つて下さい。

十日　明治六年、初めて徵兵令が公布された日であります。國民皆兵の我國に、壯丁が選ばれて國家保護の重任に當る事は一身の譽れ、かくてこそ大和島根は千代八千代安泰であります。

十一日

十一日　倉開きであります。鏡開きもいたします。新しい大福帳をこさへて帳祝ひをする日です。商賣繁昌を祈りませう。

十四日　注連飾りを撤去して、正月姿といふものが消えます

十五日　海軍始です。八幡神社に厄除詣りが押し寄せて、賽錢箱が滿腹します。昭和八年のこの日は、京城大阪間の電話が開通しました。

十八日　初觀音。有名な振袖火事は明曆三年のこの日に火を發しました。火の要心をしませう。

二十五日

二十日　はつか正月。鏡臺祝、恵比壽講など家によつてけふ取行ふところもあります。

二十五日　初天神。

三十日　チャールス一世が斷頭臺に上つた日も此日ですが、我國ではエロとグロとテロの淫婦の代表高橋お傳が、明治十二年の今月この日、二十九歳の花盛りを小塚原で斬首されてゐます。

三十一日　正月の冠もけふ一日であります。明治十年の今日は、西郷南洲を擁し立てゝ、桐野利秋に引率された薩州軍が、堂々熊本城へ進發した日であります。

# 正月爆笑遊び

## お尻消防隊

正月の遊びとして、とても奇拔で滑稽で、笑はされて笑はされて、腹の皮が痛くなつてもまだ可笑しくてならないといふのがお尻の消防隊です

先づ競技者の頭數だけの蠟燭と團扇とを準備します

競技者はその團扇を、めいめい一本宛、お尻の帶又はバンドに、逆さに向けて挾みます、すると司令者であり審判官であり、且又世話役でもある人は、室内の中央一列に、或ひはその周圍に圓形に、適當な間隔を置いて蠟燭を立て並べて、それに火をつけます

但、騒ぎのうちに蠟燭が倒れて火事でも起したら大變だから、蠟燭の台は五寸平方位の板に下から金釘を打つて蠟燭立てにしたものとか、或ひはブリキ板に同様の事をしたものを用ゆるのが安全です

さて、火がついたら、競技者を部署につけて、その火の上にまたげさします、そして『用意!』の號令をかけます、もちろん、一番早くその火を尻の團扇で消した者が一等なんです

既に競技が始まる前から笑ひ出す者もありますが、司令者は威嚴を以て臨むですな、彼氏或は彼女氏は嚴然として『始めッ』の號令を下すです

さあ大變、號令が下ると、皆は一齊に、ヒョッコリ、ヒョッコリと腰を動かして消火に努めるのですが、その動作たりや、とてもユーモラスな壯觀で、婦人選手なんか、大抵笑ひ倒れてしまひます。だが、ゲームは神聖であるです

皆さんのリーベの腰の動きがエロチックなんて考へつこなしにしませう

どうです、讀んだだけでもやつてみたくなるでせう、こつそりそれだけの準備をして自分の好きな人、綺麗な人をせいぜい澤山誘ひ出しに行く事ですナ

## 座蒲團遊び

次は座蒲團と手拭ひの外に道具はいらない、頗る簡便で頗る面白いザブトン遊びなるものをご披露に及びませう、

參加人員は八人以上十八、十二人、十四人まで位が一番適當でせう、それに合圖をする人が一人とね

先づ、八人なら八つ、十人なら十と、つまり參加する人の數だけの座蒲團を座敷の中へ、恰度相撲の土俵のやうに圓形に並べます、次にヂャンケンで組を二組に分けまして　これまたヂャンケンで負けた方が手拭で目隱しをさせられます、この目隱しをされた組の人は、勝つた方が手を引きながら、並べた座蒲團を一つ置きに座らせるのです、そして一旦目開きの方が勢揃ひをすると、司令者は『座につけ』といふ號令をかけるです、すると、各自は目隱しされた人の右側なり左側に座ります、斯うして目開きとめくらの座がきまつてしまつたら、再び司令者は『目開きの人は一から十まで、大きな聲で唱へて下さいとか『ドレミファソラシドを三べん繰返して下さい』とか命令するのです

ところがです、この遊びはその聲によつて人を當てるのが目的でありますが、その數を呼ぶにも、ドレミファを唱ふにも、決して自分の持前の聲を出しちや、一ぺんに當てられてしまひます。だからです、感付かれないやうにするには自分のふだんの聲とは、似ても似つかぬ聲を出して、うまくめくらの耳をごまかすのです。例へば浪花節語りのやうな聲を出すとか、女形役者のやうな聲を出すとか、そこがその一番肝腎の面白いところなんです。うつかり笑つたら、その笑聲でも正體がばれますよ。だが、一度數を數へたりドレミファをやつたら中には頭拔けて滑稽な聲を出す人があるので、大抵の人はお腹に汗をかくほど笑ひ崩れてしまひます。

笑ひ乍らも、油斷してならないのは目隱しをされた人々です。その聲音によつて、右にゐるのは誰、左にゐるのは誰と、見當をつけねばなりませんから。

司令者は時分を見計らつて『めくらさん、めくらさんの右(或は左)は誰ですか?』と問ひかけます。すると、目隱し組は自分の見當をつけた人の名を呼んで、目かくしを取りますが『何だ、君だつたのか』『あらいやだ、松子さんだわ』テナ見當外れが又しても一座を爆笑させます。當らなかつたらその人は、また目隱しをされますが、適中した人は適中された人に目隱しをして、自分の座つてゐた場所に交代して座らせ、こんどは目開き組にはいるのです。

## 新年俳句

◇元旦元朝

元旦の屛風穩れに化粧かな　碧梧桐
元旦や主人爐頭の第一聲　六花
元旦や旅から戻る人の親　象面坊
元旦もたつや鼠の夢の間に　大
元朝の見るものにせん富士の山　宗鑑

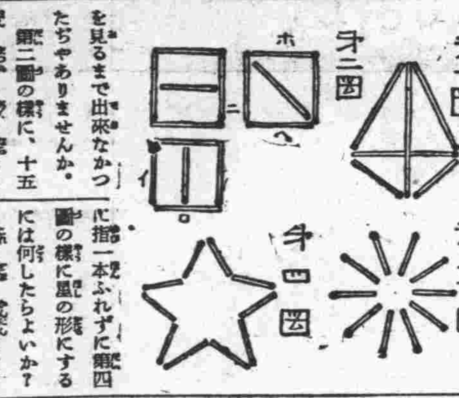
## 口上

みなちやま、ちんねんおめじえたうございまちゆ、ととちもにこ／＼ぴん／＼と、くらちまちよう、これからにこ／＼たいかいをはじめまちよう、さアく／＼ウンとわらつてくだちやいまちえ(凸坊)

## 燐寸遊戲

燐寸の軸木六本で、正三角形を拵へるにはどうしたらよいか?

どうです、出來ますか? 出來なかつたら第一圖を見て下さい、ヘヘア、譯はない等と笑つてはいけません、圖を見るまで出來なかつたちやありませんか。




第二圖の樣に、十五本の燐寸の軸を並べてその中から六本引き去つて十の字にするにはどうしたらよいか? 分らないでせう、では數へて上げます、イ、ロ、ハ、ニ、ホを引き去るのです、なぜつてそれ英語のTEN(十)ぢやありませんか―

次に燐寸を五本まん中から折つて、硝子板か盆の上に第三圖の樣に並べます、さてこれに指一本ふれずに第四圖の樣に星の形にするには何したらよいか?

之は頗る簡單です、即ち第三圖の中心に水を一滴たらすと、軸木が自然に開いて、星の形となります。

## 漫歌

◇ユニホーム始めて買つたうれしさに座敷の中で滑り込みする
◇モシ／＼と電話を掛ける姉を覗き龍よ／＼とはやす弟
◇ヒョロ／＼と納屋の横手に干してある褌歩き出すかくれんぼかな
◇竹刀に動かすことの出來ぬ身を憎や蚤めが背中をちく／＼
◇我こそは義貞なりと祖父の杖川へ投げ捨て叱られにけり
◇轉んでは起きまた轉び又起きて轉ぶローラスケート
◇遅刻して運動場に立たされて雀の啼くをつまらなく見る

## 笑の國

「お母さんの髮の毛は何處へ飛んで行くの」

「そんなことあるものですか」

「ちや、なぜ綱を張つておくの」

三人なら

自動車に乗つて遊びに行かうとする兄を見て、弟「自動車に乗せてよう」「二人乗つてはいけないんだ」「では赤ん坊を負ぶつてくるから、ちよつと待つて……」

## 和製英語辭典

ムズリチック(鼠色)モンデクラース(按摩)アタセンダム(高利貸)カムコリン(煎餅)ビールウローカア(洋酒店)ガスハヅスル(芋)グラツトユーレル(地震)トリピツクリ(飛行機)フミクバール(郵便配達)ナカメシグルリアン(お萩餅)パンクール(夕飯)ゾクトルマン(刑事)チャンソレプー(蒸汽ポンプ)テーフルマン(交通巡査)オヤクロース(不良少年少女)リンナルデール(電話)ユルリネルデー(日曜日)ジケンサパーク(裁判所)ヒトリマンイン(便所)ラタイクラスマン(相撲取)スルトヒーデル(燐寸)パタンチユートル(掃除器)

新京
日滿理髮業組合一同

神谷工務所
神谷常藏

滿鐵石炭指定新京販賣店
松茂洋行　電話 二五六二番 二〇四二番 六七五五番
裕新公司　電話二三一三番
秦山行　電話二一五六番
仁和洋行　電話 二五八二番 三四七一番
新泰洋行　電話二二九七番
加藤洋行　電話 二〇三二番 五三八八番
泰利號　電話 三一六七番 二七六〇番 六六七八番
大昌煤局　電話三一四九番

關谷郡三郎

菓子商
親和會
日新堂　吉野屋　江戸屋　峰長春堂　朝日堂　岡女庵　甘泉堂

新京運送組合

鋼鐵機械工具
土木建築材料
自動車用品
鳥羽洋行新京支店
新京曙町四丁目一四
電話 二三二四番 六四〇一番

溫泉料理
東京閣
新京安達街二一八番
電話五六四八番

滿洲火柴公賣承辦處
長春洋火工廠
寶山燐寸工場
日清燐寸株式會社
吉林燐寸株式會社運送部

新京
木材商組合員
德喜公司　清水實業公司
高砂製材所　吉川商店新京支店
沼田商會出張所　西澤木廠
濱伊商店　西田材木店
共信公司　岩間商會
小松製材所　敦化木材公司
藤井材木店　大興號
浦元製材所　岡本材木店
高橋材木店　華村木廠
新京製材所　三盛洋行
國際運輸新京支店　大島洋行
大山木廠　秋田商會出張所
西高製材所　中宮材木店

新京寫眞協會
(イロハ順)
池田寫眞所
乾寫眞館
林田寫眞館
吉岡寫眞館
中川寫眞館
臼井寫眞館
岡哲生
山本寫眞館
藤坂寫眞館
光園社寫眞場
三楊社寫眞場
森脇寫眞館

新京自動車組合
(不同)
富士屋タクシー
朝日タクシー
新京タクシー
現代タクシー
大連自動車株式會社新京支店
曙タクシー
國際運輸株式會社新京支店
滿電自動車部

# 謹賀新年

皇紀二五九五年

---

食道樂 花本
カフエー プランタン
新京ダイヤ街 電話四七八五番

日滿食堂
新京東二條通七〇 電話四七八〇番

日本自動車株式會社
新京出張所
新京八島通三〇 電話三七三五番

建築金物
西脇洋行
新京三笠町二丁目 電話二二四〇番

鳳三堂

料亭 千草
新京長春座裏通 電話二六七七番

勝又洋服 新京支店
新京日本橋通 電話三四二五番

---

横濱屋
店主 鎌田源吉

横田洋服店
店主 横田豊穂

泰和洋行
店主 森山弘重

永島疊店
店主 永島高一

名古屋優良商品紹介所
松榮勇
新京東五條通三 電話長五二五六番

生花と盆栽
村田逍遙園
新京吉野町 電話三三〇三番

エスヤ洋服店
本店 新京豐樂路四二二 電話五八五〇番
支店 新京吉野町 電話二六一九番

---

美術表裝全般
增三洋行表具部
新京ダイヤ街 電話六一七〇番

滿毛百貨店 卸部 均一部
新京吉野町二丁目 電話二七五三番

松田洋服店
店主 松田益太郎

藤山疊商店
新京朝日通 電話四七三八番

國都ホテル
新京中央通

兒玉疊商店
店主 兒玉繁太郎

カフエー ゴンドラ
新京ダイヤ街 電話三四七四番

---

寺中商店
店主 寺中楠治

カフエー 天地
新京東一條通 電話二五五四番

食道樂 天平
新京ダイヤ街永樂町 電話三三九一 六七七一番

食道樂 青葉
新京日本橋通 電話二九四二番

阿曾時計店
新京吉野町一ノ二五 電話二五七四番

三友社
新京永樂町三丁目 電話三四三八番

三泰號
三島政範
新京日本橋通四九

---

食道樂 喜久家
新京祝町三丁目 電話三四三四番

北原紙店
店主 北原廣

三宅牧場
場主 三宅濱治

食道樂 みよし
新京入船町四丁目 電話四八八八番

高級果實
ミノルヤ果物店
新京東一條通三四 電話五四六二番

食道樂 三咲屋
新京發屯豐樂路 電話二三三二番

新京驛地下食堂
折目晴雄

---

新京割烹調理師組合
幹部一同
事務所三笠町二丁目 電話六四三六番

賓宴樓飯店
新京東三條通二六 電話二八一二番

書籍雜誌和洋雜貨
森野商店
新京吉野町一丁目 電話二一五一番

森洋行
本店 新京中央通四八 電話三八七三番
支店 奉天春日町八 大連連鎖商店街

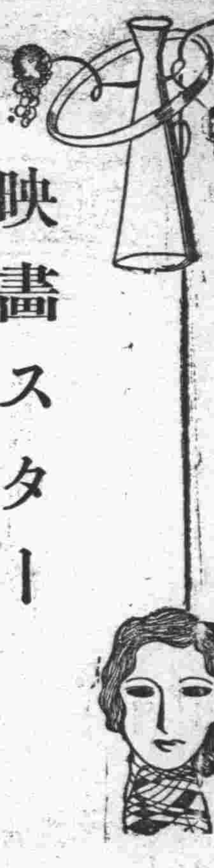
各種印刷インキ製造元
株式會社 諸星商店
奉天分行 城內大北門裡
新京出張所 老松町佐藤洋行

サロン モナミ
新京三笠町三丁目 電話二九三〇番

扇芳グリル
落合幸之介
新京ダイヤ街 電話四八〇四番

銀幕に躍る

# 映畫スター 結婚行進曲



春日歌吉

## 映畫スターと結婚

映畫スターだつて人間である―我々と同じく、飯を喰つて生き、一年に一つ宛年をとつて行く事にかはりはない、だから、彼等が戀をし、結婚をし、子供を拵へたつて、別に何の不思議もない筈だ

だのに、世間と云ふものは面白い命が氣にかゝるんだか映畫スターのゴシツプやスキヤンダルを、眼の色を變へて漁りまはる人が相當ある、やれ片岡千惠藏がどうしたの、入江だか子がどうしたの……と全く御苦勞千萬な話である

ところで『映畫スター結婚行進曲』である

前にも云つた樣に、スターだつて人間の一種である以上は、結婚をする權利はある、誰が誰と一緒になつたからつて、別に文句を云ふ筋はないがしかし……だ、兎角「人氣商賣」つて云ふ奴は、世渡りがむづかしい、自分の思ふ通りにやつて、濟む場合と濟まない場合がある、と云ふのは下手なことをやつて、ファンの御機嫌を害なつたら百年目―人氣が落ちる、寫眞が賣れなくなる、會社からは邪魔者扱ひにされる……とゞのつまり、獨立と云ふと体裁はいいが、一本立ちにならざるを得なくなつて、擧句の果てはドサ廻りか何かで、スクリン時代の人氣を頼りに、竹光を振りまはして缺食兒童みたいな近藤勇になつたり、神靜裏扇の間貫一と云つた哀れな恰好で、人間て云ふよりも猿に近いお客相手に、お淚を頂戴すると云ふ……芝居の主人公よりも自分の方が余程悲劇的な存在になつちまふのである

さて……いよいよ本題にとりかかる前に、一言斷つておくが、愚生がこれから御披露に及ばうと云ふ「映畫スター結婚行進曲」は、既に結婚生活試驗濟みの―たとへば、栗島すみ子と池田監督、岡讓二と澤蘭子、竹内良一と岡田嘉子なんて云ふ連中には及ばない、もつと新しい、從つて生々しい「結婚行進曲」なのである

## 京都の江戸つ子

飯塚敏子 坂東好太郎

長い間、蒲田でくさつてゐた飯塚敏子が下加茂へまはされた、と同時に―人間なんてわからないもんで、東京ぢや駄目だつた敏子が、どう云ふ風の吹きまはしか、京都へ來ると斷然に評判がいゝ、試みに、かなり重要な役をつけてみると、案外しつかりこなす

世間の評判も惡くない、あの顏が、必ずしも時代劇的だと云ふわけでもなく―元來が東京でも最も進歩的な學校として知られてゐる文化學院出身の敏子である、何處を押したつてお大名のお姫さんて柄ぢやないんだが……世の中つてものは全く變だ

と云ふわけで、下加茂入社早々、衣笠監督の「唐人お吉」のお吉の役を振られた時なんかはうるさかつた、新米の敏子が一躍主役を演る……尻の穴の小さい活動屋、わけても口のうるさい古參女優が大勢ゐる。それに、余計にいけないのは、土地が京都―敏子はパリパリの江戸つ子、途方に暮れた敏子だ

とその時、敏子の前に現はれた青年があつた、即ち、梨園の名家……故守田勘彌の鼈し子、坂東好太郎である、彼も江戸つ子、さうして入社間もない新進スターだ、同病(?)相あはれむ―敏子の氣持はよくわかる好太郎である慰め、慰められる二人だつたいつか、二人の氣持がセットの蔭で結び合はされたのも當然のことである

二人の、最初の共演映畫「世直し大明神」の評判は素晴らしかつた、映畫會社なんてものは、結局、お金が儲かりやいゝのだ、古株のワンサが何て騷がうと、敏子好太郎のコンビによつて、客が增えればいゝのである、それから俄然二人の共演映畫が盛に市場に現はれた

キャメラの前での二人の氣持は、いつしか私生活の上にも次第に影を濃くして……今では、敏子好太郎と云へば、かくれもない戀人同志……だが、其處がそれ人氣稼業の弱味で、まだ、公然と結婚式の擧げられない二人なのである

## お姫様と御曹子

入江たか子 田村道美

入江たか子が結婚する―と云ふニュースが傳はつた時、淚をポロポロこぼし乍ら、彼女のブロマイドを破いてゐた大學生があつたと云ふ、嘘か本當か知らないが……全く、二三年前の、たか子の人氣と來たら大變なもんだつた

今ぢや、田村道美と結婚すると云ふゴシツプが―或は事實が―余りに濃厚になつちやつたので、たか子の人氣も以前程ではなくなつたやうだがそれでも、スクリーンの女王として、而も往くとして可ならざるなき名演技とで、依然日本映畫界の女王入江たか子である

その入江たか子と、これはまた明治劇界の大御所田村成義翁の孫田村道美との結婚である、何だか、これが當然な樣な氣もする

田村が、日活に入社した當時の、撮影所の内の空氣と來たらなかつた、風速正に六〇米―去年の大風もさこそとうなづかれようと云ふ……一時に、撮影所の空氣が桃色に染まつて、時ならぬ天變地異が勃發した―とはいさゝか大袈裟だが……

何しろ、劇界の大御所田村翁を祖父に持つ名家に生れ、而も、貴公子の標本みたいな道美だ、そこら邊の成上りスターとはてんでわけが違ふ、一時は、夏川靜江がどうのとか……市川春代までが變だとか……とんでもない事になりさうだつたが……結局、入江たか子が兄東坊城恭長に同情して日活を脱退する時になつて、謎は解けた

京都双ケ丘に入江プロが設立されて、スタヂオの近所に入江兄妹の家が建つと、間もなく近くに田村が引越して來た、ホツとした者やガツカリした者が澤山あつたんだがこいつだけはどうにも仕樣がない、しかも、たか子と道美とは、二人が、映畫界に入る前からの幼馴染みだつた―と云ふんだから……

## 監督とヴァムプ女優

鈴村京子 清瀬英次郎

東亞キネマが「無憂華」を撮る時、故九條武子夫人に扮する女優を全國から募集した美事にその選に入つて一躍銀幕の人氣者になつた鈴村京子東亞が解散してから、小プロを轉々して、日活に入つた時は、恰度スクリンの大姐御伏見直江を失つて、その後釜の物色に血眼になつてゐる時だつた

何しろ、九條武子夫人に似てゐると云ふので女優になつた京子である、だから、何處へ行つても娘役ばかりだつたのも無理もない話だが……その京子を、何と伏見直江の後繼者にしようと目をつけたのが、手堅い手法を賞讚されてゐる日活の中堅監督清瀬英次郎だつた

だから、清瀬監督の京子に對する指導の熱心さと來たら……それこそ、口のうるさいスタヂオ、マンが變な噂を立てたくなるのも當然だつたのである

一昨年の春、鈴村京子の出世作「仇討二番ケ原」の撮影中、監督が京子の演技指導に熱心すぎると云ふ評判が立つた、時も時―風邪を押して働いてゐた京子は撮影がすむと同時に、とうとう肋膜炎を起して倒れてしまつた、責任を感じたのは清瀬監督である、明治學院出身の―根ッからチャンの清瀬監督だ、早速、病院へ見舞ひに行く、それがまた噂の原因になる、と同時に……京子の氣持が、次第に清瀬監督に對する感謝から……いつか戀に移つて行くのも無理のない話だ

京子の病中に、二人の戀は成立した、さうして、京子の退院祝ひは同時に清瀬監督との婚約披露となつて……これには、さすがのスタヂオ、マンも啞然としてしまつたと云ふ

## 恩義に結ばれた

中野かほる 泉雅夫

スターのスキヤンダルを嗅ぎ出すに獨特な手腕を持つてゐた某通信社の記者が、自分がスターと結婚すると云ふことによつて記者生活から足を拔いた―と云ふ話である

鈴木傳明一派が蒲田を脱退した直後、渡邊篤、横尾泥海男等によつて、日本喜劇プロと云ふのが生れた、不幸にして僅か一本の作品しか發表しなかつたが……

そのプロに、中野かほると云ふ女優がゐた、元は東亞キネマのスターだつたが、東亞沒落後、女優を食物にする惡周旋屋の手にかゝつて各社を轉々、やつと喜劇プロに落着いたのだが……此處も亦解散、神戸出身のかほるである、廣い東京に知己も少い、懷中の金もいくらもない、赤坂の山王ホテルの一室で、かほるは途方に暮れてゐた、その時、彼女の室の扉をノツクした一人の美青年があつた、泉雅夫である、泉は、以前からのかほるの同情者……彼女を喜劇プロに入社させたのも泉であつた、その時の泉は、ヒステリーの細君と喧嘩をした後で額に赤黒いミミズ脹れが二三本……だが、ひどく元氣だつた

何故つて、泉のポケットには、帝都映畫界の錚々たる批評家の署名のある「中野かほる推薦狀」があつたのである自分の紹介によつてかほるを入社させた喜劇プロが解散し、かほるが困窮してゐるのに責任を感じた泉は、獨斷で中野かほるを新興キネマに入社させるべく猛運動を開始して、漸くそれに成功し……しかも二百八十圓の高級で契約を濟ませて來たのだ、中野にとつてこの泉の義俠がどんなに嬉しかつた事か……やがて泉はヒステリーの妻君と別れ、記者の足を洗つて、更生の中野かほると共に京都行の列車に乘つたのである(完)

寫眞、右―上から田村、飯塚、中野、左―上から入江、坂東、鈴村

# 皇紀二五九五年 謹賀新年

## 滿洲國

財政部

洪維國
星野直樹
源田松三
田中恭
西貞吉
胡宗瀛
伊藤博
廣崎貞雄
徐尚志
田村敏雄
永井哲夫
山梨武夫
楊培
横山龍一
松崎健吉
洪鑄

吉黒権運署

上加世田成法
魏宗蓮
熙清
高谷大二郎

専賣公署

姜恩之
灘波經一
古木隆藏
天野作藏
傳玉桐
武波善治

## 國都建設局

局長 阮振鐸
總務處長 結城清太郎
技術處長 近藤安吉
庶務科長 江崎猛
計畫科長 溝江五月
土地科長 草地一雄
水道科長 重住文男

## 滿洲電業股份有限公司

董事長 吉田豐彦
副董事長 入江正太郎
副董事長 孫澂
常務董事 小池覚
常務董事 高橋仁一
常務董事 石橋米一
常務董事 王聘之
董事 林鶴皐
董事 岡村金藏
董事 溫和
董事 古泉光男
董事 迫喜平次
董事 奥村愼次
董事 趙壽芳
常任監察人 高橋貫一
監察人 巴英額
監察人 谷川善次郎
顧問 糟谷陽二
技監 雨宮春雄

# 謹賀新年

皇紀二五九五年


新京市場株式會社
同賣店組合員一同

產科婦人科
博仁醫院
醫學博士 沖津亘
新京日本橋通二〇
電話五六八五番

東亞產業協會
新京中央通十二番地

中央ホテル
新京中央通西公園前
電話四一一一番
六三四〇番

洋百貨店
秋林洋行支店
本店 ハルビン
支店 奉天、大連
新京日本橋通十七
電話五三〇二番

新京
洋服商組合一同

大興股份有限公司
資本 國幣六百萬圓(全額拂込濟)
主要業務 當業、造酒、製油、雜貨賣買財產ノ管理、代理業、公債社債券其ノ他有價證券ノ募集並引受及滿洲土產品取扱
本店 新京特別市北大街第三十六號
支店 奉天、新京、吉林、哈爾濱
營業店 滿洲國內重要地三六ヶ所

新京
藥業組合

滿洲航空會社
新京飛行場

滿洲國通信社

滿洲採金株式會社

滿洲炭鑛株式會社
新京西廣場

社團法人 滿洲土木建築業協會
新京分會

和洋百貨
金泰洋行
新京日本橋通二五
電話二一五九番
二三八八番

新京輸入組合

南滿洲瓦斯株式會社
新京支店

三菱商事株式會社
新京出張所

新京醫師會

新京醫院一同

新京附屬地
質屋營業組合


(いろは順)

# 不思議に當る
## 昭和十年の金運占ひ

當麻哲山

本年の金運は、例年の通り惠まれる人と惠まれない人があつて、幾ら努力しても金の入らない人、遊んで暮してゐても金の入る人との不平等極まる差別があるのである

しかし、自分は運が惡い、どんなに働いても貧乏神が離れないと云つて歎く必要はない、一年の内には、最惡運の人でも、少くも四度や五度の好運が廻つてくる。時機で無い時に働き、好い時機に働かないから、いつまで經つても金運が惠まれないのである、さういふ人のために、金運のある月とない月を九星別によつて明示することにした

○

九歳、十八歳、二十七歳、三十六歳、四十五歳、五十四歳、六十三歳、七十二歳

右の年齢の人は、一月は用意月でどんな仕事にも芽を吹かないから、沈默して計畫に忠實であらねばならぬ、二月は少し無理をして戰へば、案外好運が得られる、或は今年この月に頭に浮んだこれが新生第一歩の仕事ともならう、三月は、金談や金錢事の一切には不向きである、徐々にすればよい

四月は、貸借ごとにもめ事がある、しかし小利は手に入る、五月こそ、盤根錯節を破つて巨金を得ることだ、意氣天を衝くために反感を招き、自滅しないやうに注意すべしとに角、掛合金錢事に大利あるだ、六月も、大願成就、名聲揚がる、旅行に注意せよ、七月け甚だ沈衰せん、八月は助力者に異變があるから、柔和溫和を守ること、九月は、誘惑に勝つて、千里を走る勢がある、巨利入る月である、十月は金談はよいが、他の運はゼロである、十一月は、身動きがつかない、十二月決算しても過分の剩余金が出る、この猪の年は、この年齢の人は稀に見る明るい年であらう

○

十九歳、二十八歳、三十七歳、四十六歳、五十五歳、六十四歳、七十三歳

金運は四五回は惠まれるが總體的に云つてあまり好運の年と云へない、一月は慌しく年を迎へて、方針計畫など一切まとまらず、焦燥に暮れてしまふであらう、二月も周章狼狽の月である、眼前に大利を見るだけである、三月はまだ實行月ではなく、四月に至つて、機先を制して金運に惠まれる　五月は證文印鑑其他に注意を要する、六月は、大利がある、大運福德の月である、この月を見逃さぬやうにすること、七月は、何事も辛抱が肝腎で、いつまでも物の下に錐は潜んでゐないから、焦躁せざやうにすること、八月は、初め順調で、下旬に至つて亂れてくる、九月は平安な月で小利がある、十月は、他より不意の金運がある、しかし共同事業は不可、十一月は、希望の實現する月で、金、金皆吉である、十二月は好轉と釣瓶落しの逆轉があるから注意すること、小利はあらう

○

二十歳、二十九歳、三十八歳、四十七歳、五十六歳、六十五歳、七十四歳

一月は諸事まとまらず、爭ひごとが生ずる、下旬に至つて金運がある、二月は、金錢の散失する月である、儲けは愚か借金を背負ひ込む、三月は、勇躍の月で押强く進めば金錢意の如くならん、四月は本年度の大運月で、單なる利益收入の外に、思はざる大金が入る、五月は、他からの壓迫があつて、泣く兒と地頭には勝てなくなる、六月は、金錢上のもめ事に御注意、七月もよろしくない、八月は小利の月である、九月には財寶々庫に滿つる月だが、邪魔されないやうにすべし、十月は、大金手ほ入り錦上花を添へる月である、十一月は、緣談金談すべてよし、紛爭事に注意すればよい、十二月は、思ひ煩ふこと更になし、ノンビリと屠蘇の用意にかゝつて、新春を迎へるがよい

○

十二歳、二十一歳、三十歳、三十九歳、四十八歳、五十七歳、六十六歳、七十五歳

一月は、折角の金運に惠まれながら、突發的の事に金運を取り逃す、大膽に事に當ればよい、二月は、すぐ金にはならぬが、歩一歩目的に迫り希望に近づき愉快な月である　三月は、企業集金金談早い撰大利あり、下旬は儲けすぎた金を散失する惧れがあるから注意すべし、四月は、やはり金運の機會に惠まれる、五月は、大金手に入り諸事破竹の勢である、六月は、梅雨同樣陰鬱である、七月は、右を見ても左を見ても金が出來ない金かと思つて掴めば、馬鹿の如し、八月は臨機應變せば吉利あるが、それも少々である九月は、始めて喜悅に艶り、金運名譽共によし、手は舞ひ足は踊るといふ月である、十月はその余勢に惠まれる、十一月は、また、冒險的金運あり、十二月は、金錢上のもめ事に、多曲的な猪年を彼方へと逸つてしまふであらう

○

十三歳、二十二歳、卅一歳、四十歳、四十九歳、五十八歳、六十七歳、七十六歳

新年は早々より順調に進む目出度い月である、二月は、金運の機會に惠まれ、直ちに實行可能の月である、多少資金難に惱むことがある、三月は大金が手に入る、訴訟事を注意すべく、四月は眼前の利に垂涎措く能はざる月だが特別に好運の人は、不意に大金が入ることがある、五月は中運で總てよい、他人の妨げを注意すべく、六月は、上旬がよい、愚圖愚圖は禁物、七月は、一切不可である、八月は、計畫事圖に當る月で、しかしまだ金錢に惠まれない、猛進すれば、寶を失ふことになる、金運は自身の手中にあるのみである、九月は、警戒せずば、折角の好運に逃げられる、しかし、援助を求むるは不可である、十月は、決死の勢で、一擧に事を決すべき月である、諸事早く決行すれば巨利が入る、十一月は總て支障を生ずる、十二月も、云はゞ敗殘の月で、みぢめな終局の年の暮である

○

十四歳、二十三歳、三十二歳、四十一歳、五十歳、五十九歳、六十八歳、七十七歳

一月は靜かに仕事をするがよい、それが二月には金になる、二月に入つたら、諸事早く決行せば、小利を得る、三月は、大金の出費がある、借金又恐るゝに足らず、大いに業務を擴張する事だ、四月には、金談は調ひ難いが、偶然に成就する事がある、五月には、借償問題に注意すること　小利あり、六月は、行詰りの月で、どうにもならない

七月は、他人の邪魔があるが、少しの金には惠まれる、八月は、金談は約束だけの事で、喜ぶにはまだ早い、九月は、思はぬ先輩の引立があり息をつくけれど、自暴自棄になつてはいけない、十月は、中旬後がよい、上旬は、反逆に遭つて、血の流れに暮れることがある、十一月は、順風に送られて、金運を掴まん、二月も、洋々たる幸運の大海に出でゝ思ふ存分利益を得ることが出來る

○

十五歳、二十四歳、三十三歳、四十二歳、五十一歳、六十歳、六十九歳、七十八歳

一月は折角の金運が途中で逃げ出す、二月は、新規の計畫に吉ありで、漸くとも二十五日後は、小利あり、但し性急なれば不可である、三月は孤軍奮鬪の月である、少々の利はあらう、四月は、金運その他、悉くよい、總て頂上に達する、五月は、自ら金運を見限つて、妙な諦めを感ずる月である、氣を取り直して娑婆氣を起すがよい、六月は余り正しくない金が入る、妙に娑婆氣はよろしくない、かういふ不安な榮華が續く、七月は、奇蹟月で、金運を掴る事あり、八月は、注意して進めば、不意の收入がある、しかし、すぐ散逸する、九月は、貧乏を沁々味ふ月だ、たまにはそれもよい、稼ぐ者には貧乏なしだ、十月は、金運に大光明を認める、十一月は、大金運に惠まれる、本年最高の金運だ、十二月は、係爭問題に惱む事あり、地獄の思ひでこの年と訣別する

○

十六歳、二十五歳、三十四歳、四十三歳、五十二歳、六十一歳、七十歳、七十九歳

新年初頭金と愛とに惠まれる、幸福の門は開くが、總じて今年は兇運だ、二月は人に賴つて損となる、しかし金運少々あり、三月は、幸運の山に登つて、八合目で皆行詰る四月は、出費月である、人に金を借りられる、こともあり、五月は、局面一變して金運あり、粘り强く進めば上々吉であらう、六月は、また同じ、七月は、自然に財寶が集まる眼前の金利に躊躇する勿れ、八月は、少し不遇な目に會ふ金運など思ひもよらぬ月である、九月は、堂々と戰へ、諸事押强く進めば吉である、十月は、再び幸運に惠まれる、しかし一石二鳥を慾張るものには、得なし、十一月は、財散逸する月で、種々の受難がある、十二月は、大金も思ふ存分に入り、歡樂の宴に陶醉する、しかし、この年は、總體に、精神苦が多く、明朗性に富まない故、余り愉快な年ではない

○

十七歳、二十六歳、卅五歳、四十四歳、五十三歳、六十二歳、七十一歳、八十歳

變轉多き年が來た、しかし前に反して、非常に内心愉快な猪の歳だ、一月は、總て手につかず、金運どころではない、二月も、金運に逃げられる、一浮一沈、後年の幸福を待つ事だ、三月に至り、漸く金運來り、發展隆々だ、四月は、小利益あるも、大出費がある、しかし、來月に樂しみがもてて愉快だ、五月こそ、大金運來る月だ、柳は綠、花は紅、この月ほど愉快な事はない、總て長上の指導を仰げ六月は、出金あり、無謀を愼しめ、七月は、地味に質素に進めば、また來月が愉快だ、八月は、大運あり、大なる哉天命、偉なる哉幸福、天地闊るき思ひがする、九月には、出金夥し、泣くにも泣けまい十月も、無情の金につまされる、自動車で走つた身が、テクで歩いたりする、十一月は金運自ら飛込む、所謂タナボタ月である、十二月も、上旬までよい、後は損あり、しかし一年中を決算すれば、損得なしである、以て呵々大笑してよからん（了）

## 新春小話　まアいやだ

A子「御結婚なすつてから初めてのお元日ね、とツても嬉しいでせう？　幸福ね、羨ましいわ！」

B子「あら、ちつとも幸福ぢやないわ、妾、悲觀よ」

A子「まアー　何うして？」

B子「でも、大晦日の晩は寢るもんぢやないつて、到頭徹夜させられちまつたんですもの、結婚してからこんな事初めてよ、つまんないわ！」

# 謹賀新年


井本運送店　新京支店　新京祝町二丁目　電話三八四三番

錦戸商店　新京八島通四〇番地

機械製作　長春鐵工所　新京東三條通り　電話六五三六番

大森醫院　新京梅ケ枝町三丁目　電話四七四三番

特產陸軍御用達　大矢組　新京支店　新京東四條通二　電話二三九二番

土木建築請負　岡組　新京出張所　新京朝日通り七九　電話二七八八番

土木建築請負　株式會社鹿島組　新京出張所　新京曙町三丁目二四　電話二八〇四番

龜川齒科醫院　龜川一郎　新京祝町二丁目（太子堂東角）

土木建築並鐵工業請負　高岡組　新京朝日通五七　電話三四八五番　六八〇一番

土木建築請負　長門組　新京出張所　新京朝日通八一（朝日ビル内）　電話三二八一番

株式會社滿洲金物　新京支店　新京メイヤ街　電話二八一九番　六二二一番

合資會社松田清商店　新京支店　新京朝日通り七一　電話五二八〇番

土木建築請負　福井高梨組　新京朝日通七七　電話二六八二番

福信金融株式會社

株式會社滿洲取引所仲買人　福奉公司證券部新京支店　新京東一條通り四六ノ三　電話六七八五番

國都醫院　新京永樂町三丁目　電話四六〇六番

康德洋行新京支店　新京入船町二丁目　電話五九四三番

向陽ホテル　新京大和通り　電話三八八二番

銘酒姬鶴丸萬醬油發賣元　向陽公司　新京東二條通（二條橋北）　電話五七四九番

株式會社アサヒ商會新京支店　新京朝日通り六五　電話三三六九番

笹沼タイプライター發賣元　笹屋商會新京支店　新京メイヤ街

各種石油鑛油商　出光商會　新京出張所　新京朝日通り八一番地

新京居留民會

新京土地建物株式會社　新京朝日通一七　電話四八二八番

新京齒科醫師會

新京販賣事務所

新京百貨店　新京日本橋通り　電話三一六一番　四八七六番

新京洗染業組合一同

皇紀二五九五年

# 謹賀新年

石井亥之吉　新京中央通

池畑自轉車店　新京曙町二丁目　電話三四二三番

稻垣呉服店　新京吉野町二丁目　電話四八〇一番

井上刀劍店　店主 井上惣三郎

日隆號精米所　新京三笠町四丁目　電話五八一八番

西村洋行　店主 西村清兵衛

日鮮貿易精米所　新京東二條通　電話三二一九番

日信洋行　新京東一條通　電話二一六三番

市瀬工務所　市瀬良胤

東亞ホテル　新京朝日通八十一　電話四九二七番

陸軍御用達食料雜貨商　徳本商店　新京蓬萊町一丁目　電話三四三二番

食料雜貨　梶原洋行　新京日本橋通二四　電話二二五五番

果實商　カネリ洋行　新京ダイヤ街　電話五三九二番

龜岡看板店　新京ダイヤ街　電話二九四五番

加藤造花店　新京祝町二丁目　電話三一〇八番

大阪毎日新聞 東京日日新聞 新京販賣所長　田中勘助

玉屋菓子舗　新京永樂町一丁目　電話五二九二番

花環　佃竹次郎　祝町二丁目　電話三四五三番

中谷時計店新京支店　新京日本橋通　電話三八五四番

明治生命保險株式會社新京事務所　永吉淳

中村製綿所　新京祝町五丁目　電話二一六一番

村岡呉服店　新京吉野町二丁目　電話二一二四番

大本自轉車店　店主 大本六二

新京疊商店　店主 鵜殿新十郎　新京東一條通　電話三四四一番

鵜殿兄弟商會　鵜殿長壽惠　電話二四八二番

泰利號主　則生徳之輔

新京驛構內賣店　久保田ケサヱ

泰山行主　山下藤藏

山村疊製作所　領事館西側　電話二二七九番

奴すし食堂　新京東一條通　電話三三八〇番

割烹　藪虎　新京日本橋通　電話三四四五番

滿洲製油株式會社

和洋諸樂器　吉野屋樂器店　新京祝町二丁目　電話三〇六八番

㋕商店　新京吉野町二丁目　電話三一二四番

生そば丸善　新京祝町二丁目　電話三〇六八番

洋品雜貨　丸福洋行　新京永樂町三丁目　電話六六八五番

文古堂印房　新京吉野町一丁目　電話三一四五番

大衆食堂　福滿　新京老松町　普通學校裏通

福田商店　店主 福田右一　新京富士町

食料品卸問屋　福田商店新京支店　新京日本橋通　電話二九八〇番

小林履物店　店主 小林儀左衛門

淺野釀造場新京支店　新京東二條通　電話二二六八番

天野商店　店主 天野恒太郎

赤木洋行　店主 赤木常磐

大阪 東京　朝日新聞新京販賣所　栃尾幾太郎

現代號主　茅本喜一

金龍洋行　店主 山下要八

北澤寫眞製版所　新京曙町四ノ九

木村洋行　新京中央通　電話三三四六番

共榮倶樂部　新京日本橋通

ダイヤ倶樂部　新京東二條通

白米 木炭 草繩　唯一公司　新京曙町三丁目　電話三三七五

東京各新聞販賣所　三浦新聞店　新京吉野町一ノ三　電話三四九五番

みしまや呉服店　新京日本橋通廿七　電話二五三五番

新京金融組合　新京日本橋通　電話二二二七理事席　電話五二〇一積金係

熊岳城下野農園　高級果實　新京直賣所　新京ダイヤ街　電話六七七二番

新京驛土產賣所　ビューロー隣(みやげ店)　電話二九六一番

新京木材工作公司　藤岡織太郎

和洋雜貨　清水商店　新京吉野町一丁目　電話三二二三番

看板 圖案 裝飾　新彩社　高橋忠　三笠町一丁目　新京輸入組合內　電話二六〇五番

服の店　十文字屋　赤垣幾四郎

ジャパンツーリストビューロー　主任 桑原明

城川派遣婦會　新京日本橋通四五　電話五七二八番

合資會社　廣本洋行　店主 廣本光治

日滿料理　日の出シユウマイ　新京東三條通　電話五四二八番

和洋玩具　日の出　新京日本橋通廿九　電話二七二一番

壽司竹食堂　新京日本橋通　電話二七二四番

# 新作落語 熊さんの生命線

九亭三樂
山口豊専畫

ヘイ、明けまして皆さまお芽出度うございます、今年は一九三五年でございます、これは西洋の數へ方でございますが、日本の紀元では二五九五年でございます、日本人と生れた以上は成可く日本式でやりたいものでございますね

どういふ譯だか存じませんが今年と來年を目ざして「非常時々々」と言つて、仲々世間ではお喧ましうございます

あつしのやうな無學のものにはとんと分りません、それでいろいろ考へて見ましたが、やつと分りました、西洋の一九三五をひねくつて讀みますと、一九三（いくさ）となりますな、つまりいくさの五年ちう譯ですね、又日本の二五九五をひねくつて讀みますと二五九五（にいくい）となりますから、こりやどこかに憎い國があつて、いくさでもおつぱじまるんぢやねえかと思ふんですが、こいつあんまりコヂツケでがすかね

とにかく非常時氣分はいよいよ濃厚になつた參りました、猫でも杓子でも顔さへ見れば「非常時」だの「生命線」だのを連發して居ります

「オイ、寅公、どうした、バカに新年早々不景氣な面下げてるぢやねえか」

「ウン、昨夜はとんでもねえ非常時でな、嬶と宣戰布告して、これ見ねえ、この通り向ふ脛を擲つ拂はれちまつたあ」

「俺も正月早々呑みすぎて財布の中がすつかり非常時なんでこれから生命線へ行くところさ」

「手前の生命線はまさか滿洲ぢやあるめえ、一體、何處だい？」

「俺の生命線はきまつてらあ何ふ横町の越後屋（質屋）よ」

「チエツ！笑はせやがらあ……」

こんな手合ひにかゝつちやあ「非常時」も「生命線」も泣き出してしまひまさア

然し、同じ「生命線」でも、長屋の熊さんの「生命線」とくると、仲々愛嬌がございます

「オイ、熊さん、今夜は歸りに一杯つきあへよ、ホラ、あすこのバアへ一寸踏皮のむけた綺麗な奴が來たぜ、お前なんかゞ行きや屹度持てるぜ、どうだ、つきあはねえか？」

「冗、冗談ぢやねえ、家の生命線にどやしつけられらあ」

「ネエ、熊さん、妾今夜××館へ丹下左膳を見に行くの、妾おごつてもいゝからつきあつてくれない」

「お生憎樣、家の生命線が待つてるから俺はけへるよ」

しかしだが熊さんは「生命線」をよヤミ矢鱈に振廻して御近所を惱ましてます

宜なる哉、そこには語れば長い譯があるのでございます

熊さん未だ獨身の頃、同じ工場に勤めてゐたお花さんといふトテシヤンがあつたのです

熊さん、このお花さんを一目見たときから、ぞつこん惚れ込んぢまつて、煩悩の犬追へども去らず、毎日悶々として樂しまずつてなことになつちまつたんです

身の丈五尺八寸、名は体を現すとかでひげ蓬々と熊の樣な御面相で、戀煩ひなんて凡そ板につかないのですが、神樣は公平に彼氏にも生理的變化をお與へ下すつたのです

然るに、お花さんを百パーセントに評價する者は熊さん豈一人のみならず、衆目の一致するところですから、茲にガゼン競爭者が現れたデス、しかも、その中には誰が見ても熊さん以上の色男がいくらもいや、おそらく全部がさうでありました

熊さんたる者大恐慌です、正に文字通りの非常時です

如何にしてこの非常時を克服すべきか？熊さんは工場で働いてゐる時も、夜寢る間も一生懸命に考へました

やがて到達した結果、唯一押しあるのみでした、古來「一押二金三男」といふ金言がありますが、勿論熊さんは金と男とには誠に縁遠い存在です

押に到つては何とか都合の出來ないこともありません故里にゐた頃は草相撲の横綱で、押の一手でずゐぶん寄切つたもんです

「よし、押だ押だ！」

さう思ふと、一刻も躊躇してゐられません

先んずれば人を制す

思ひ立つたが吉日

義を見てせざるは勇なきなり

熟慮斷行

熊さんは貧弱な頭から、都合のいい凡ゆる格言を思ひ出して、自ら勇氣付けると、早速お花さんの家へ乘込んで、直接談判を開始したデス、然るにこれが所謂熊さんの熊さんたる所以でせう、何等の腹案も用意して來なかつたので、イザ先方の親に打突つて見たものの、何と切出してよいか分らなくなつてしまひました

況んや、熊さんは有名な訥辯です

そこで熊さん苦し紛れに

「あつしや、お花さんに惚れちまつて迚も非常時なんです お花さんはあつしの生命線なんです、お花さんをあつしに下さい、呉れなけりや、お花さんの家へ火を放けて、あつしや首をくゝつて死んぢまひます」

と、やつたもんです

非常時とか生命線とか言ふ言葉は、その頃から流行してゐたので自然と出たのでせう

しかし、何が幸ひになるか分らんもんです、却つて熊さんの稚氣滿々たる素朴な態度がお花さんの兩親にすつかり氣に入つちまつた、即座にＯＫと來たんでさア、愕きましたね、ダアとなつたのは他の連中でさア

一先づザツト熊さんの結婚由來記はかうした譯なんです

それ以來、熊さんは愛妻お花さんのことを生命線と呼び友達も亦彼の細君のことを生命線と呼ぶやうになつたのです

ところで目下の熊さん夫婦は如何といふに、新婚の夢いと濃やかにして「生命線」の「生命線」たる所以を、いよいよ深からしめてゐます

ここに於て、悶燒きの發生するのは心理的現象として當然のことです

「オイ、熊公の奴、やに生命線々々を振廻しやあがつて癪に障るぢやねえか、何とかしてやりてえもんだなア」

「ウン、全くくそ忌々しいなどうだ一つからかつてやらうぢやないか？」

「よからう、ウン、さうだ、いゝ思ひ付きがある」

そして何やらコソコソ……御苦勞千萬に余計な御節介を燒いたもんです

そこで、翌日の夕方です、熊さんの友達の寅さんだ一役買つて、ひよつこり熊さんの留守宅を訪ねました、生命線のお花さんは、お湯へ入つてお化粧をし、夕飯の支度をしてわが夫の歸りを今や遲しとお待兼ねのところでした

「あゝお花さん、今日熊さんから言傳があつてね、工場から眞直ぐ××館へ活動を觀に行くさうだからお花さんにも來てくれとのことだつたよ」

「アラ、さう……」

乘せられるとは知らず、お花さん、久振りに活動を觀るなんてまア珍らしいと、いそいそと支度をして、寅さんに連れられて出かけました

それとも知らず五時の定刻をすぎること十五分、一分も違はず、お辨當箱をガラガラ鳴らし乍ら、勢ひ込んで熊さんは戻つて來て我家の門口から

「オイ、お花、今歸つたよ」

と、例に依つて例の如く聲をかけましたが、いつも「お歸りなさい」と笑顔と共に飛び出して來る筈のお花さんの姿が今日に限つて見えません

「オイ、お花、どうした、どこかに隱れてゐてワッと嚇すつもりだらう、駄目だよ、その手にやのらんよ」

獨言を言ひ乍ら、押入の中から雪隱の中、はては長屋中一軒々々探し廻りましたが、どこにもゐません

「ざや、使ひにでも行つたんだらう、まあ、一杯やつてるとしよう」

熊さん落着き拂つて、お膳の前にドッカと胡座と据いて、チビリチビリやり始めました

最前から形勢如何と表から窺つてゐた八さん、些かあてがはづれたので、のこのこと入つて來て

「よう、一人か、生命線はどうしたね？」

「ナニ、一寸そこまで使ひにまア一杯やれよ」

と、すましたもんです

「それにしても變だね、滅多にお前の留守に家なんかあけたことのねえお花さんが……さう言へば兄貴俺あ思ひ當ることがあるがね」

「何がさ？」

「何でも近頃お前の留守にチヨイチヨイ若い男が出入りをするつて噂だぜ」

「チエツ、馬鹿にするない、お花に限つてそんな事があつて堪るもんけえ」

「それがいはねえ、町内で知らぬは亭主ばかりなりつてことがあらあ、オイオイ本當に氣を付けなよ」

「アツハヽヽ笑はせるないそれはさうと今夜は給料を貰つたんで、お花をつれて××館へ活動を觀に行く積りだつたんだ、お前も一緒に行かねえか、隣りの家へお花が歸つて來たら後から來るやうに言傳けておけばいゝから……さア行かう」

「いや、どうもお前の甘いのにはあきれて物が云へねえ、俺だつたら世間の手前斷然離縁を聲明するにだがなあ、全く人の事でも齒痒いぜ」

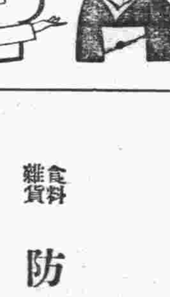
「いや、俺は斷然聲明せん（生命線）だ」

ヘイ御退屈さま

## 新春小話

### 負けぬ準備

母親「今晩の歌留多會は、あの方がお前を見にいらつしやるのだから、勝負なんぞに夢中にならないで、お行儀よくしてゐなくちやいけないよ」



モダン娘「でも、妾、異う澄ましてなんぞゐないわ、源平で敵味方になつたら、屹と勝つてやるわよ、だつて見合の時に勝つて置きや、結婚してからだつて、負けてゐないで濟むでせう？」

## 新年俳句

◇正月

膳立も未だ正月の匂ひかな　支考

正月の顔になりけり諸職人　稱良

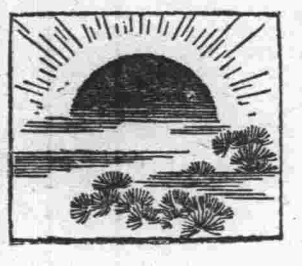
梅ゝ雁ただ正月の在所かな　嵐外

正月や橙赤き雪の門　愚哉

船頭や正月をしに草の宿　青々

# 新年初づくし

三浦青花



芽出度い新年に因んで『初』の字のつく正月行事の解説を試みて見よう

### ■初夢

初夢の文獻に現れた最初は『年くれぬ春くべしとは思ひねの、まさしくみえてかなふ初夢』といふ『山家集』にある歌である

初夢と切つても切れない深い關係のある『寶船』の繪を枕の下に入れて寢る習はしは足利時代から初まつたものである

### ■初日の出

太陽を崇拜する風習は、古今東西に亘つて、古くから行はれてゐるが、我々日本人は『天照大神』の信仰に結びついてゐるために、太陽に對する信仰は一層強い、わけても元日の『初日の出』は芽出度いものとなつてゐるが『初日の出』と云へば、伊勢二見ヶ浦の『初日の出』は有名である

### ■書初め

書初めは、元日にするーといふ說、二日とする說、又、日を撰ばず新年に初めて書くことだーといふ說等あるが、江戸時代以來、多くは二日に行はれてゐる、起源は明瞭ではない『書初め』は『試筆』とも『試書』とも『吉書』とも『筆試』とも云ふ、書初めに多く用ひられる文字は『君が代』の國歌に『長生殿裏春秋富、不老門日前月遲』とであるが之等は先づ定石と言つてよく、自分の作つた詩歌、又は古人の詩文等何でもよい

### ■讀書初

正月の『讀書始』は、これも起源は明確ではないが『吾妻鏡』の中に、源實朝が、正月十二日の讀書初めに孝經を用ひたーとある 次で室町時代には、三條實隆公が、明應五年正月二日『續千載集』を讀書始めに用ひたと見え『是例年之儀也』とつけ加へてある所を見れば、既に恒例になつてゐたことが分る、これがそのまゝ江戸時代に引繼がれて多く正月二日が用ひられた

### ■商始（初荷）

商家では正月二日を商ひ始めとした、之は馬や車を飾り旗や幟を立てたりして、夫々の問屋筋から年頭最初の荷の取引をし、それを『初荷』と言ひ、お署蘇氣嫌にほろ醉ひの馬子や人夫が、景氣よく歌を唱つて荷を送つたものであるが、今はさうした情景も少なくなつた

### ■初湯

むかしーといふ程でもなくほんの少し前まで、正月二日乃至元日に『初湯』といつてわざわざ錢湯に行つたものである、此日『御祝儀』と言つて白紙に僅かばかりのお鳥目をひねつて番台に置くと、湯屋では、それを飾り立てるが、習慣だつたが、今では、弊害があるとかで、警察で喧しく差止めてしまつた、又、正月十六日は『貰ひ湯』と言つて その日の收入は三助のものと決つてゐたが、今はセチ辛くなつて、そんな事をする湯屋はない

### ■謠初

『謠初め』の起源は、室町幕府の時、正月四日、觀世の一曲を庭で謠はしめたので、其後、豐臣時代には正月二日に行ひ、德川時代に入つてからは、天正二年正月二日家康が濱松で行つたのが最初で、毎年の恒例となつたが、承應三年正月から、將軍家綱の母の忌日に當るので三日となり爾來その日を一般に『謠初め』とした

### ■初芝居

江戸時代には、年頭の祝儀として、元日『式三番』を勤め、その後で座頭が春狂言を披露し、役割を讀み、所謂『仕初式』といふものを行ふ、蓋明けは二日であつた、中には二回興行、三回興行をやるのもある

### ■彈初と舞初

琴、三味線、長唄、常磐津清元、一中等所謂遊藝のお師匠さんは、大底二日か三日にその弟子を集めて『彈初』や『舞初』をやつた、之は孟ばかりで、本統の稽古は松の内すぎてからである（完）


# 謹賀新年

1935

濱木印刷所　東二條通り一〇　電話二二四八番

筈元醫院　新京ダイヤ街（老松町）　電話五六一六番

食料雜貨　防長洋行　新京興安大路六〇六　電話六一五一番

東亞煙草株式會社　新京出張所

東洋醫院　院長　田中善平

頭道溝商務會

長春旅館　新京驛前電話三〇二九番

和洋百貨　丸美洋行　新京興安大路六〇六　電話六八三三番

千葉商店　店主　千葉修一

秩父呉服　秩父屋　吉野町一丁目　電話二九七〇番

大阪商船株式會社新京事務所

銘酒司松合名會社　大和號新京出張所　新京興安大路四一三　電話二七九二番

大阪屋號書店　店主　大谷愛三郎

寫眞機及材料商　合資會社　檻村洋行新京支店　新京日本橋通り　電話五四六五番

田中卓二　新京祝町二丁目

大信組　赤羽一二

寶洋行　店主　宮本信七

クスリと化粧品　第一藥局　新京興安大路四〇二　電話五二九三番

大通電氣工業合資會社　新京朝日通り六九　電話四九五七番

南滿印刷所　日滿興行部　齋藤重武　新京三笠町二丁目　電話三四五四番

建築金物材料　安坂新京支店　新京興安大路四〇二　電話三八四八番

食料雜貨　丸三洋行　東三條通五八　電話三〇二六番

丸德商店　店主　堀川德太郎

土木建築業　小西鹿藏

新京日滿理髮業組合長　淺沼伊之助

ドクトル　廣澤德民　新京日本橋通り八〇　電話五四三六番

食料雜貨　百丸洋行　新京興安大路三一　電話五三〇五番

平本洋行　店主　岡田小太郎

和洋食　ピリケン食堂　新京東三條通り　電話六一六八番

新京販賣事務所　久松治

盛倉商店　店主　荒木伸之

# 謹賀新年

皇紀二五九五年

銘酒國の光　福鶴釀造元
**石川酒造場**
石川千代次

**林兼商店冷凍販賣所**

**日本タイプライター株式會社**
新京出張所
新京朝日通八十(一)
電話 三三三八番 五六八四番

**仁和洋行**
新京三笠町三丁目
電話 二五八二番 三七四八番

小兒科專門
**長春醫院**
岩間志津
新京中央通二六
電話六二四一番

內科小兒科
**吉田醫院**
醫學博士 吉田秀雄
新京室町二丁目（公學堂前）

印刷
**雙發洋行**
新京日本橋通
電話 二八三四番 三八二三番

土木建築設計製圖請負
**椿組新京出張所**
新京八島通四六
電話 五八四六番 五七六一番

理髮
**ナショナル軒**
同ヤマトホテル內理髮部
軒主 土井明治郎
外從業員一同
新京日本橋通
電話二六三一番

新京取引所取引人
奉天取引所取引人
滿洲取引所取引人
**久記銀號證券部支店**
新京老松町十二番地
電話 二〇八五番 五三二九番

自動車、附屬品、部分品販賣
**株式會社ヤマト商會新京支店**
新京中央通四〇番地
電話四九二四番

**大和洋行**
新京日本橋通
電話 三七〇四番 三七〇五番

**松茂洋行**
新京東二條通
電話 二〇四二番 二五六二番

**滿洲醬油合資會社**
新京三笠町三丁目
電話二一七三番
工場富士町三丁目

**株式會社福昌公司新京出張所**
新京八島通四二
電話 二六九七番 四八六六番

**甘栗太郎**
新京銀座通り
電話二八八七番

**合資會社阿川組**
新京日本橋通十六
電話 二〇三六番 三二〇五番

**榊谷組出張所**
新京中央通四一
電話長三二〇七番

**品川洋行**
店主 高堂武則
新京日本橋通

**社團法人新京賽馬倶樂部**
新京富士町五丁目六
電話 事務所 二三二三番 五五〇六番
賽馬場 五五〇七番

（いろは印）

新京日日新聞
夕刊
一月四日
本紙 一部五錢 一ヶ月一圓
定價 前納 一ヶ月 十五錢
廣告 普通 一行 一円三十錢
料金 特別 同 二円五十錢
發行所 新京日日新聞社 新京永樂町四ノ一 電話三二二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 永越內之介

# 土地商租問題解決

## 日本人の商租は今後無制限自由に

### 一切の交渉漸やく一段落

### 記事解禁さる

滿洲國に於ける日本人の土地商租に關する交渉に就ては從來各方面に種々の誤解の起るを警戒し當局では記事掲載を禁止してゐたが、今回同問題に關する一切の交渉が一段落せるを以て今回記事掲載禁止を解除したが同交渉內容は左の如くである

一、從來張作霖政權下に於ては奉天省に於てのみ日本人の土地商租を許してゐたが滿洲國では舊吉林、黑龍兩省の北滿に對し自發的に商租權を認むることになつた

一、滿洲國成立當時は日本內地の大資本家の進出を恐れ十五萬町歩以上の商租を許さぬが如く傳へられたが今回かゝる制限を附せず日本人の商租を無制限自由となした

一、右の如く日滿商租權交渉の圓滿且完全なる解決に依り日本人は滿洲國で土地を商租し(期限を更新する事を得るものとす)工業、農業經營のため三十年(期限を更新する事を得るものとす)を限り土地を商租することを得ることゝなり今後は在住その他自由なる經濟的活動をなすことを得るに至り將來日滿經濟の緊密なる連絡發展をなすことを得るに至つたものである

## 通郵交渉內容

### 日支兩國共同發表

日支停戰協定の申合附帶事項たる滿支通郵交渉は去る十一月十四日北平に於て藤原保明、高宗武日支兩代表間に申合口約成り十二月三十一日午前十一時日支兩當局の名で左の如き共同發表があつた

**內容** 永い間の懸案であつた滿支間の郵便業務回復に關する問題も今回愈々關東軍側及び上海郵政總局側との間に圓滿解決を見、先づ一月十日より普通郵便を次で二月一日より爲替、小包の取扱を實施せらるゝことゝなつた、之に伴ひ滿洲國側では中國宛郵便料金を次の如く決定した

(イ)通常郵便物
書狀廿瓦毎に四分
通常葉書二分
業務用書類、書籍、印刷物盲人用點字、印刷物又は凸字書籍、商品見本、新聞紙等は現行國內郵便に關するものに同じ
(備考、前量制限は國內郵便に同じ)
特殊取扱の料金
書留八分、快信八分
(備考、書留郵便物に限り快信の取扱を爲すものに付快信郵便物の特殊取扱料は一角六分となる)
到達證四分
(備考、郵便物差出後は八分とす)
其の他請求料
取戾又は名宛變更八分(差立準備着手前)一角二分(差立準備着手後)
そう跡取調八分

(ロ)小包郵便物
一瓩迄 四角
(備考、國內遞送に付き二單純費を要するものに付ては一單純費、三單純費を要するものに付ては二單純費を上記料金に加へ且鐵道又は汽船の通ぜざる地域に於ける郵政管署に於て引受の場合は更に特別料金を徵收す
一瓩を超過するものは、一瓩又は其端數毎に二角
(備考、重量制限は十瓩とす)
但右料金の外雲南省內各地宛の小包(四川省經由のものを除く)に付ては左の特別料金を差出人より徵收す

| (重量) | (料金) |
|---|---|
| 一瓩迄のもの | 七角 |
| 二瓩同 | 八角五分 |
| 三瓩同 | 一元〇角五分 |
| 五瓩同 | 一元二角 |
| 七瓩同 | 一元七角 |
| 十瓩同 | 一元九角 |

特殊取扱料金
(種別) (料金)
代金引換料 代換金額の百分の二
到達證 通常郵便に同じ
特別料金
(種別) (料金)
通關料 一角
保管料 到着通知書發行日より十日を經過し十一日目より一日(但二元を超ゆるを得ず)小包一個五分
其他の請求料
戾名宛變更 料金八分(備考、八分差立準備着手前)
代金引換金額取消又は低減 料金一角二分
(備考、八分差立準備着手後)
そう跡取調 料金八分
備考 價格表記郵便物、通常郵便物の代金引換、調金別納郵便物は之を取扱はず

(ハ)郵便爲替料

| | |
|---|---|
| 十圓迄 | 一角五分 |
| 二十圓迄 | 二角五分 |
| 三十圓迄 | 三角五分 |
| 五十圓迄 | 五角五分 |
| 百圓迄 | 一圓 |
| 百五十圓迄 | 一圓五角 |

以上五十圓又は其の端數毎に四角を加徵す

## 滿鐵各機關の御用始め

新京鐵道事務所新京地方事務所の御用始はそれぞれ四日午前九時から所長以下所員一同顔合せの上行はれ、同日は午前中執務で午後休業した

## 北鐵讓渡交渉更に一歩進展

### 露代表回訓を齎らす

【東京國通】北鐵交渉のソ聯側代表カズロフスキー氏は三日午前九時外務省に東郷歐亞局長を訪問、去る三十日東郷カズロフスキー兩氏の間に意見の一致を見るに至らなかつたソ側北鐵從業員の退職金支拂問題及び其他の細目に關し本國政府よりの回訓に基き具體案を提示、協議する處あつたが此の問題は兩者間の交渉が順調に進展してゐる際とて三日の會見に於ては更に一歩接近したものと觀られてゐる

【東京國通】北鐵讓渡交渉は卅日の東郷、カズロフスキー兩氏の折衝を以て從來の懸案事項を大體解決、尚一、二回の細目折衝の後こゝに全部の折衝を終了し直ちに協定文の整理に入り一月中に假調印を行ひ二月中には滿ソ兩國間に協定の正式調印を了する段取となるものと見られる

## 政友の出方で成行きは注目

【東京國通】昭和十年十二月廿七日を以て國際聯盟脱退の法的效力が發生するので、之を契機に國際關係が極めて微妙な動きをなす事であらう、議會が無事にすんで國策審議會の豫算が成立すれば、四月早々內閣審議會を設け朝野有識の士を委員として重要工作の審議に當る內閣には別に調査局を新設し國策審議に遺漏なきを期する方針で、國策審議會に對しては政友會は最初から反對の態度をとつて居るので、愈々設置といふ場合政友會から代表委員を出すかどうかも危ぶまれてゐるから、其成行きは重要視される、更に一月一日午前零時を期して第二回中間更生調査が行はれる國勢調査が國策遂行の重要な役割を演じて來た事は周知の如くであるが、國策審議會設置と相俟つて今回の國勢調査會が國勢一般に亘り基礎的數字に關する貴重なる資料を齎すものとして各方面から期待されてゐる

## 改正選擧法公營案の成果

### 各方面で期待さる

【東京國通】昭和十年の政界は廿一日から再開される通常議會に依つて一段の活氣を呈するものと豫想されるが、萬一通常議會で政友會が臨時議會に於ける爆彈動議の後始末に一方的解釋を強調して遮二無二通過豫算の提出を要求する樣な場合は解散を免がれぬものと觀られるが萬一解散となれば改正選擧法に依る始めての總選擧が行はれる、改正選擧法は比例代表は採用出來なかつたが選擧公營案が實施されるので之が實施の結果は各方面より期待されてゐる

## 休會明け議會

### 內閣審議會設立提案で愈よ波瀾豫想さる

【東京國通】岡田內閣成立以來の懸案たる內閣審議會の具體案は愈々來る七日の閣議に於て正式に決定すると共に所要經費(昭和十年度追加豫算)を休會明け議會に提出することとなつてゐるが、內閣審議會には政友會が反對してゐる關係上此の豫算に對しては政府政友の間に相當緊張した場面を展開すると同時に政友會內の賛否兩論對立等も惹起する虞れあるため此の問題の成行きは頗る重視されてゐる

### 初閣議は八日

【東京國通】政府は四日の政始の儀御取止め遊ばされたので、四日の初閣議は取止め八日午後二時より初閣議を開き各特別會計豫算を決定、更に內閣審議會についても協議する外重要國策を審議する筈である

## 天皇陛下御風邪殆んど御平癒

### 諸御儀の一部を御取止

【東京國通】御風邪のため新年諸御儀の一部を御取止めになり、只管御靜養遊ばされてゐる天皇陛下の御經過は至極御良好に亘らせられ、未だ御臥床は離れ給はぬと雖も御熱も無く多少御咳嗽を拜する位で殆んど御平常の通り御恢復遊ばされた由に承る

### 湯淺宮相謹話

【東京國通】天皇陛下御風邪の御模樣につき湯淺宮相は謹んで語る

天皇陛下には舊臘來御風邪氣にて御假床を願ひ奉りましたが其後御經過は極めて御良好にわたらせられ既に廿九日正午以來御平熱にて御政務は廢せられず誠に恐懼に堪えませぬ、而し尚時に御咳を拜しますのでこゝ兩三日は御假床のまゝ御靜養願ふやう奏請致しました、從つて政始の御儀は御取り止めの事となりました今日の御模樣より拜察致しますれば日ならずして御床拂ひ仰せ出ださる事と存じ上げますが觀兵式は長時間に亘る御儀でありますから行幸の御見合せを願ふ事としその旨奏請御裁可を得ました

### 觀兵式行幸御取止め

【東京國通】天皇陛下には御平常通り御恢復遊ばされたが更に御大事を御執り遊ばさるゝため四日の宮中政始並に來る八日の陸軍始觀兵式行幸は御取止めあらせられ只管御靜養遊ばされる事に御決定になつた旨三日宮內省より發表された

## 經濟第一主義へ

### 對滿政策の新轉換

### 期待される南全權の手腕

### 新春早々に着手

【東京國通】在滿機構改革問題も新官制の制定更に現地に於ては南全權、長岡關東局長、內地に於ては林兼任滿事務局總裁川越同次長の堂々たる陣容を整へ一段落を告げたが、之に伴ひ我對滿國策は從來の治安第一主義より經濟第一主義に轉換するものとして頗る注目すべきものがある、而して經濟第一主義は日滿兩國間に新條約の締結により日滿經濟會議たる國際機關を設置し、以て日滿經濟統制問題を解決せんとするものであるが之が準備工作は既に十月上旬前ギリシヤ公使川島氏が廣田外相の命を受けて渡滿、日滿經濟統制の具體的事項を調査研究してゐるので南全權は新春匆々之が實現に着手することゝなるべく同時に滿鐵總裁の更迭其他の人事異動を行ひ對滿國策遂行に邁進する事となつてゐるので政府は南全權の今後の努力に多大の期待をかけてゐる

### 人事往來

▲岩崎長男氏(陸軍省軍事調査部員)三日午後三時着ハルビンから名古屋ホテル投宿
▲田島正一氏(陸軍士官學校附)同上
▲御彰池辰雄氏(關東局警務課長)三日午後五時三十分着大連から大和ホテル投宿
▲伊澤道雄氏(鐵路總局次長)三日午後十時三十分着奉天から
▲遠藤柳作氏(總務廳長)三日午前七時發新站へ(狩獵)
▲長谷部少將(豫備役)同上
▲板垣少將(關東軍參謀副長)三日午前十時發大連へ
▲石本大佐(關東軍第二課長)同上
▲原田大佐(同上第三課長)同上
▲王靜修氏(第五軍管區司令官)同上
▲今中大佐(關東軍測量隊長)三日午後零時發奉天へ
▲山田大佐(士官學校學生隊長)三日午後三時着ハルビンから
▲吉田豐彥氏(滿洲電業會社々長)三日午後五時三十分着大連から
▲日下辰太氏(關東局司政部長)三日午後十時三十分着大連から

## ■女八人感激時代■ 最後の切札八枚

(禁上映上演轉載)

(合作) 柳 咲子……峯 吟子
大林梅子……若水絹子
澤 蘭子……夏川靜江
木下双葉……飯田蝶子
(挿畫 大附彦丈筆)

24 =限りある人生= ……父の上京(三) 夏川靜江作

「おゝ、迎へにきてくれたか。すまん、すまん! 電報などつてさぞおどろいたらう」

と、盛田にそつくりな、たゞ年老つてゐるだけに、口髯の白くなつてゐる顏を、にこやかに笑はせながら歩み寄つてきた。

父の、すぐ後には、かくれるやうにして靜子の姿があつた。

盛田は父ひとりと思つてゐたのが、意外にも、靜子といふ同伴のあることを發見したおどろきから、かつて周章たことのないかれにしては、珍らしいほどの狼狽ぶりだつた。

しかし、すぐ立ち直つて、

「よく、いらつしやいました」

と、脱帽して、誰に對してもあまり低げたことのない頭を、父にだけはこゝろから低げて、そして、

「だいぶ、急な御上京ではありませんか、お疲れでせう?」

と云つた。

「はゝゝ、何、ちよつと思ひ立つてのう。お前も忙しからうから決して邪魔はせんつもりぢや」

「いえ、悠々、お逗留下さい。時に、お母さんは如何ですか」

「うむ、この頃は、持病もあまり起らんでのう、だいぶん丈夫になつたやうぢや」

と、云つてから、有賀老は、人混みに押されながら、故意とらしく振りかへつて、

「おう、靜子さん、おぼえとるぢやらう。隆治が迎へに來てくれましたよ」

と、云つた。すると、有賀老のかげになつてゐた靜子は、ぱつとしたやうに赤くなりながら叮嚀にお叩頭をした。口の中で何かいつたやうだつたが、それはきこえなかつた。

盛田も、無言で禮をかへした。父のこの上京の意圖は、自分が、靜子との結婚を承認したについて、ふたりを近づけ、急轉直下的に話しをまとめやうとするにあると感じた。

そのとき、靜子を前に、瞬間盛田の頭をよこぎつたのは、富世子の顏だつた。

「靜子さんは、親類に用事ができての、丁度よい道づれぢやから一緒にきたのぢやが、いやもう、世話する暇のわしが、かへつてお世話になりどほしでのう」

と、有賀老は、笑ひながら云つた。そして、兩手に小鞄と風呂敷づゝみをさげてゐるのに氣がついた盛田は、

「お持ちしませう?」

と、手を出すと、

「いや、いや。わしのものはわしが持つで、それよりも靜子さんのはうを……」

と、云つて、ちよつと振りかへるやうにした。

そこで盛田が、靜子の提げてゐるバスケットへ手を伸べると、靜子は、逃げるやうに狼狽して

「いえ、あの。よろしいので御座います。輕いのでございますから……」

「でも、お持ちしませう」

「いえ、あの、ほんとうに!」

と、靜子は眞赤になつて退くやうにした。

× ×

ジェーム夫妻の晩餐に誘はれて、今夜も富世子は、築地の料亭へ案內されたのだつた。富世子たちに、一足おくれて、また佐々木の姿が、ジェーム夫妻の前にあらはれた。

洋菓子専門
ゴトウ
豐樂路
デンワ 6356

三色羊羹
新京輸入組合加盟店
和洋製菓 峰長春堂 電話三一九一番 電話五四四七番
同 市場內支店 電話二八四二番

滿洲語研究員募集
一、資格 初學者、稍解者(男女無關)
一、時間 自午後七時至九時
一、開講日 一月十一日
一、申込時日 每日自午後四時半至六時
一、研究料 每月金二圓
尚本人ノ學力程度ニ依リ各組ニ編入スルコトヲ得
新京東二條通四三階上(滿鐵醫院西)
滿洲語學研究社

謹而新年の御祝を申上ます
尚本年も格別の御愛顧を賜り度奉願上候
昭和十年元旦
洋服材料 松田洋服店
店主 松田益太郎
電話二一四六番

病氣入院中に付年末年始の禮を缺き候段不惡御寬容願上候
熊本市大江町九品寺甲斐根一三八
津澤吉彦

求人廣告
寫眞技術を有する年齡十七歲以上廿七歲未滿の男子にして身体强健なる者二名採用す希望者は自筆履歷書添附奉天本社庶務課長宛申込まれ度し來る一月七日午前九時より試驗の上採用す
奉天商埠地五經路九緯路
滿洲航空株式會社

例へ一個の荷物發送到着配達も(電話二四六二番)
例へ一個の荷物でも臨時倉庫へ保管も(電話二四六二番へ)
丸山運送店
新京祝町三丁目十三番
電話二四六二番

今宵は是非
江戸情味粋な哥澤のど自慢の清元をお聞に嬉野へ
料亭 嬉野
三笠町三ノ七
電三八三〇

御芽出度ふ御座います
◎お正月は元旦より
◎撮影致します
電話三〇二五番に御下命くださいますれば隨時出張いたします
吉野町二丁目
乾寫眞館
電話三〇二五番